

都市計画マスタープラン 進捗管理
(平成 24 年度～平成 28 年度) 版

平成 26 年度報告書

平成 27 年 7 月

狛 江 市

目次

序章	はじめに	1
第1章	年次計画一覧	5
第2章	進捗評価シート	9
1	土地利用の方針	9
	(1) 総表	
	(2) 北部・事業別進捗評価シート	
	(3) 中部・事業別進捗評価シート	
	(4) 南部・事業別進捗評価シート	
2	道路・交通網整備の方針	27
	(1) 総表	
	(2) 事業別進捗評価シート	
3	環境まちづくりの方針	37
	(1) 総表	
	(2) 事業別進捗評価シート	
4	安心・安全まちづくりの方針	51
	(1) 総表	
	(2) 事業別進捗評価シート	
5	福祉のまちづくりの方針	65
	(1) 総表	
	(2) 事業別進捗評価シート	
6	狛江らしい文化を育むまちづくりの方針	75
	(1) 総表	
	(2) 事業別進捗評価シート	
第3章	今後の取組み	85
1	評価結果のまとめ	85
2	取組みの推進に向けて	85

序章 はじめに

1 進捗管理

市では、平成 24 年 3 月に都市計画マスタープランを策定し、5 つのまちづくりの目標の実現のため、土地利用の方針並びに道路・交通網整備、環境、安心安全、福祉及び文化の 6 つの各分野ごとに、まちづくりの方針を示しました。

この都市計画マスタープランについて、その実効性を担保し着実な進展を図るため、前年度の取り組み状況の評価を行い、毎年度進捗管理を行うこととします。

2 本報告書の構成

(1) 年次計画

都市計画マスタープランの計画期間は、平成 24 年度から概ね平成 43 年までとなっていることを踏まえ、都市計画マスタープランの施策の推進に必要な取り組みについて、平成 24 年度から当初 5 年間（平成 28 年度まで）を期間とした年次計画として、指標による進捗管理を行います。この年次計画は、毎年度の実績を踏まえ、必要があればローリングを行います。

(2) 進捗評価シート

都市計画マスタープランに掲げられた 6 つの方針ごとに、各方針の各施策を推進するための事業について、事業内容及び指標の当該年度における実績と前年度比の評価、ヒアリング等に基づく執行状況の検証結果を示し、総合評価を記載しています。

3 進捗評価の方法

平成 26 年 7 月に、市が策定している計画の評価基準を 4 段階に統一し、取り組みの強化を図るべき評価の目安が示されたため、平成 27 年度から、指標による評価とヒアリング等に基づく執行状況の検証のそれぞれについて、下記のとおりの評価基準へ見直すこととします。

(1) 評価方法

評価は、指標の数値による定量的な評価とヒアリング等に基づく定性的な評価の両面的な評価を行い、総合評価とします。

① 指標による評価

各課から出された事業の進捗を図る指標について、前年度比で評価を行います。指標数値の性質上減少させるのが目標となる場合には、※のとおり評価をすることとします。

評価基準	評価内容	前年度比（目安）	※
a	進捗している	1 倍超	0.5 倍以下
b	現状維持	0.8 倍～1 倍	0.8 倍未満
c	あまり進捗していない	0.8 倍未満	0.8 倍～1 倍超
d	まったく進捗していない	0.5 倍以下	1 倍超

② ヒアリング等に基づく執行状況の検証

都市計画に関するまちづくりについての課題解決には、住民の合意形成やハード面の整備等、長期間に渡る取組みが必要になる場合があること、また指標による評価では、ある程度取組みが進んだ段階においては前年度比の伸びが期待できない場合が多く見受けられることから、ヒアリング等により下記の3つの視点から検証を行うこととします。

視点	検証結果
事業の実績は順調に推移しているか。	a.進捗している
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b.現状維持
事業の執行体制上の課題・その他	c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない

（2）重点事業の位置づけ

都市計画マスタープランの6つの方針のうち、土地利用の方針についての施策に関する事業は都市計画の根本的な課題解決に関わる取組みであり、将来都市構造の実現に向けた重点事業として位置付けることとします。

4 進捗評価シート 凡例

施策（方針番号）				
4-2 道路・交通網整備施策				
施策の内容	①	歩行空間の充実		
	②	自転車利用環境の改善		
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上		
	④	体系的な道路網整備		

事業No.	事業名	担当課
1	・調布3・4・16号線整備事業・調布3・4・4号線整備事業（終了） ・市道34号線整備事業・市道32号線整備事業（終了） ・要修繕箇所の整備	整備課土木整備係・財産管理係

指標評価				予算事業名
指標	歩道整備箇所の延長（m）・数（修繕含む）			調布3・4・16号線及び市道34号線整備費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
84m	40m	0.48倍	d	10,904

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	市道34号線については、都度延伸している。七差路の安全確保については、電中研前の道路整備の中で行う予定。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	c a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	今後は事業実施による周辺への影響について、関係する部署とともに検討し、市として事業を実施することが望ましい。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	34号線の整備については、残物件についての対応を迫られているため、引き続き協議を行い、対応を検討する必要がある。

都市計画マスタープラン上の位置づけを示しています。

事業名及び事業内容並びに担当課を示しています。

各課よりいただいた指標と前年度（平成25年度）及び今年度（平成26年度）における指標の実績を記載したうえで、前年度比を算出し、評価結果を示しています。また、該当する予算事業名と予算額を示しています。

ヒアリング結果等を踏まえ、3つの視点からの執行状況の検証の結果を示しています。

指標評価と執行状況の検証を踏まえた総合評価を示しています。

第1章 年次計画一覧

年次計画一覧

4-1 土地利用の方針

	方 向	指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度実績	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
北部								
①	良好な住宅地環境の維持・形成	・条例届出件数 ・景観まちづくりWG、PT開催回数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	32件	41件 8回(WG) 3回(PT)	31件 0回(WG) 1回(PT)	30件 2回(WG) 2回(PT)	30件 2回(WG)
②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	整備本数・箇所(m)	まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	1本 (164m)	1本 (138m)	0本	—	未定 (3・4・23号線)
③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	—	誘導件数1件	誘導件数0件	誘導件数1件 協議会1件	誘導件数1件 協議会1件
④	狭あい道路地区における住環境の改善	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数	道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	説明会3回	協議会1件
⑤	大規模な開発の適切な誘導	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	協議会1件	協議会1件	大規模1件 地区計画1件	大規模1件	—
⑥	農地の保全・活用	買取面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	—	—
⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進	・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	—	—	地区計画1件	—	—
中部								
①	良好な住宅地環境の維持・形成		まちづくり推進課まちづくり推進担当					
②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	説明会1回 整備箇所数1本	—	—
③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	—	—	—	協議会1件	協議会1件
④	狭あい道路地区における住環境の改善	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数	道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	—	説明会3回
⑤	大規模な開発の適切な誘導	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	協議会1件	協議会1件	大規模2件 協議会1件	協議会1件	地区計画1件 協議会1件
⑥	農地の保全・活用	買取面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	—	0.18ha
⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進		まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係					
南部								
①	良好な住宅地環境の維持・形成		まちづくり推進課まちづくり推進担当					
②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	—	—	説明会1回	—	—
③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・住居系用途への誘導件数 ・用途地域の見直し	まちづくり推進課都市計画担当	—	—	—	—	—
④	狭あい道路地区における住環境の改善		まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係					
⑤	大規模な開発の適切な誘導		まちづくり推進課まちづくり推進担当					
⑥	農地の保全・活用	買取面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	—	—	—	0.44ha
⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進		まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	—	—	庁内検討委員会9回 構想策定委員会3回	庁内検討委員会1回 構想策定委員会1回	地区計画1件

4-2 道路・交通網整備施策

	方 向	指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度実績	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
①	歩行空間の充実	・歩道整備の数(セムフラット化) ・要修繕箇所の整備率 ・ポケットパーク、休憩用ベンチの設置数 ・ミニシンボルロードの整備箇所	整備課土木整備係 環境政策課水と緑の係 道路交通課道路管理係	34号線:83m 2基 (H24年度まで15基)	32号線:84m 3・4.17緑地帯に4基 田中橋交差点付近に1基	22号線:40m ・3基(多摩川土手水神前、8号線、根川さくら通り) ・2基 歩道部	未定 必要な場所に1～2基	未定 必要な場所に1～2基
②	自転車利用環境の改善	・放置自転車数、自転車放置禁止区域数 ・公共施設の駐輪場整備状況 ・マナー教室の参加者数 ・自転車に関する交通事故件数	道路交通課交通対策係 道路交通課交通対策係	自転車マナー教室参加者1,303人 自転車関与交通事故件数23件 狛江駅105台、和泉多摩川駅10台、喜多見駅2台	自転車マナー教室参加者1,448人 自転車関与交通事故件数15件 狛江駅102台、和泉多摩川駅10台、喜多見駅4台	自転車マナー教室参加者1,353人 自転車関与交通事故件数13件 狛江駅92台、和泉多摩川駅12台、喜多見駅5台	自転車マナー教室参加者1,500人 自転車関与交通事故件数15件 各駅放置ゼロ	自転車マナー教室参加者1,550人 自転車関与交通事故件数15件 各駅放置ゼロ

③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上	・こまバス利用者数 ・地下駐車場利用者数	道路交通課交通対策係	157,173人	160,967人	178,530人	153,000人	153,000人
			道路交通課交通対策係	車97,163台(定37) バイク236台(定4)	車97,808台(定55) バイク225台(定7)	車95,019台(定45) バイク283台(定5)	120,000台	120,000台
④	体系的な道路網整備	・整備済み本数(都市間幹線道路、主要幹線道路及び補助幹線道路、主要生活道路、生活道路) ・現状適正状態にある道路割合 ・狭あい道路整備率	整備課土木整備係	34号線	32号線 (82m)	623号線 98m 303号線 233m 430号線 127m 22号線 8m	110号線 220m 379号線 60m 706号線 180m 487号線 60m 222号線 130m 524号線 140m	未定
			道路交通課道路管理係	76%(面積)が適正 (道路修繕不要)	77%	79%	88%	90%

4-3 環境まちづくり施策

	方 向	指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度実績	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成	1) 水の拠点	・水辺の乗校参加者数 ・せせらぎ保全活動実績 ・弁財天池保全活動実績	環境政策課水と緑の係	水辺の乗校 4,689人 弁財天見学者1,232人	水辺の乗校 4,015人 弁財天見学者1,528人	水辺の乗校 4,064人 弁財天見学者1,495人	水辺の乗校 約5,000人 弁財天見学者1,700人
		2) 緑の拠点	・和泉多摩川緑地都立公園化推進体制案整備 ・和泉多摩川緑地都立公園化取組実績 ・緑被率 ・樹林地の確保実績	政策室企画法制担当 まちづくり推進課都市計画担当	— 現況調査	H26年4月組織改正 —	庁内検討委員会9回 構想策定委員会3回	庁内検討委員会1回 構想策定委員会1回
		3) 農の拠点	・認定農業者数 ・市民農園の利用率 ・体験農園の利用率 ・避難場所農地の数	地域活性化課地域振興係 安心安全課防災防犯係	・認定農業者数 17人 ・市民農園の利用率 100% ・体験農園の利用率 58%	・認定農業者数 19人 ・市民農園の利用率 100% ・体験農園の利用率 98%	・認定農業者数 20人 ・市民農園の利用率 100% ・体験農園の利用率 100%	・認定農業者数 20人 ・市民農園の利用率 100% ・体験農園の利用率 100%
				無し	〇箇所	〇箇所	避難場所農地5箇所指定を目標とする	避難場所農地10箇所指定を目標とする
②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成	1) 水のネットワーク	・美化清掃、多摩川統一清掃の参加人数	環境政策課水と緑の係	野川清掃 未実施	野川清掃 280人	野川清掃 278人	野川清掃 約300人
		2) 緑のネットワーク	・整備回数(実績) ・水路の緑道化の実績	環境政策課水と緑の係 道路交通課道路管理係・境界確定係	整備、緑道化なし 3.4.17緑地帯	花いっぱい事業は市道3カ所で実施。法定外公共物等利用方針策定。	花いっぱい事業 3.4.17緑地帯	花いっぱい事業 法定外公共物等利用方針に基づく整備
			整備課土木整備係	—	旧七小跡地児童遊園整備 (1,153㎡)			
③	環境まちづくりの促進	1) 公共空間の緑化の推進	・公共施設の届出件数 環境政策課水と緑の係 緑のカーテン実績	まちづくり推進課まちづくり推進担当 環境政策課水と緑の係	4件	3件	3件	3件
		3) 民有地の緑化の推進	・提供公園実績(面積等)	環境政策課水と緑の係	庁舎前 1箇所 7箇所	0 9箇所	庁舎前 1箇所 10箇所	庁舎前 1箇所 11箇所
					もみの木児童遊園 234㎡	いずみ児童遊園 528.01㎡ 和泉憩いの広場 586.84㎡	0㎡	まちづくり条例に基づく提供公園のほか休遊地の確保
								まちづくり条例に基づく提供公園のほか休遊地の確保
④	公園・緑地の維持・管理と整備	・整備回数	環境政策課水と緑の係	年3回除草 年35回清掃	年3回除草 年35回清掃 七小跡地児童遊園1,153㎡	年3回除草 年35回清掃	年3回除草 年35回清掃	年3回除草 年35回清掃

4-4 安心・安全まちづくり施策

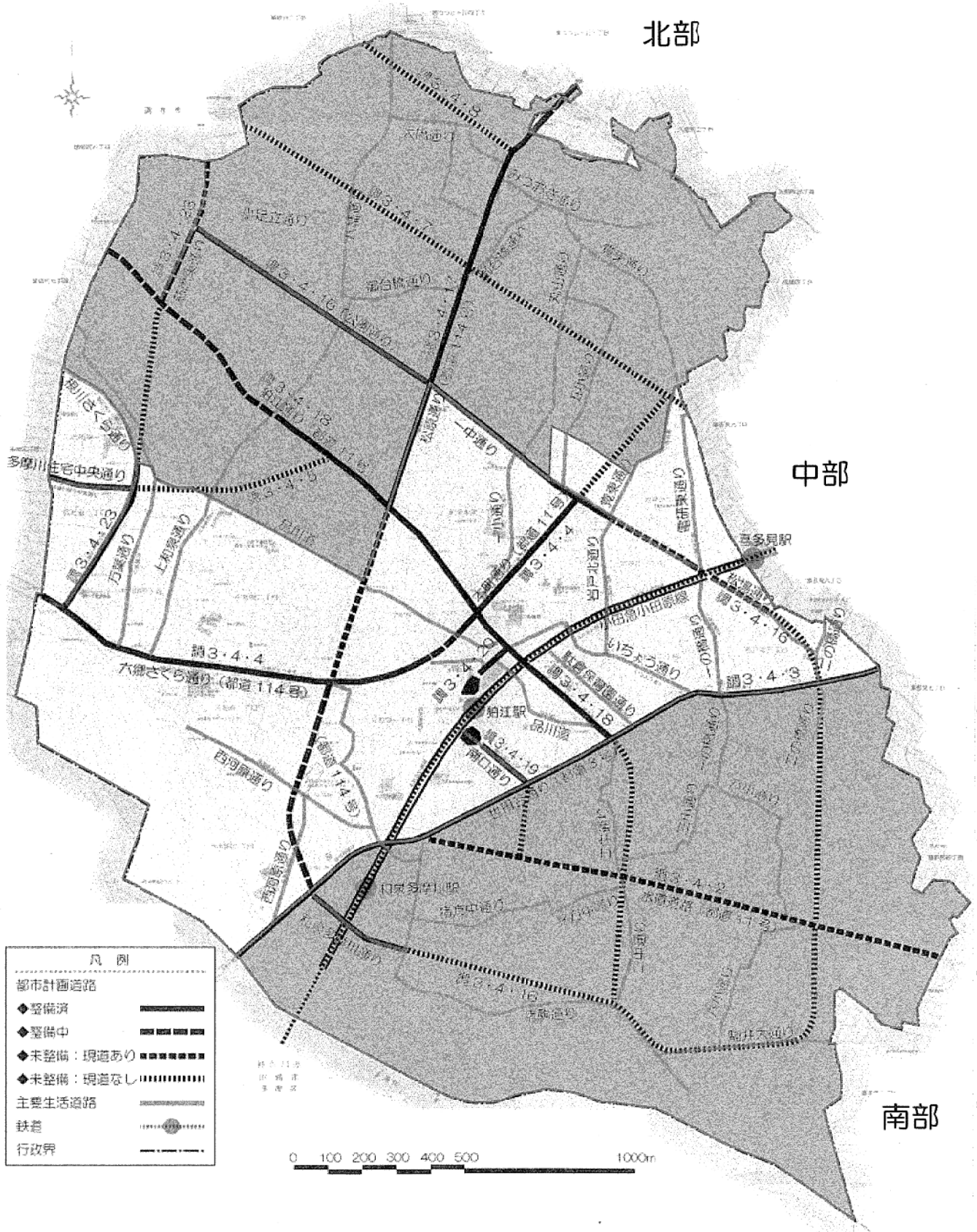
	方 向	指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度実績	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
①	総合的な防災対策の推進	・避難所運営協議会数 ・訓練参加者数	安心安全課防災防犯係	避難所運営協議会数:2箇所 訓練参加者数:1,861名	避難所運営協議会数:5箇所 訓練参加者数:1,766名	避難所運営協議会数:11箇所 訓練参加者数:2,241名	避難所運営協議会数:12箇所 訓練参加者数:2,341名	避難所運営協議会数:12箇所 訓練参加者数:2,501名
		・避難行動要支援者名簿登録数 ・ヘルプカード交付者数	地域福祉課地域福祉係	2,738人 0人	2,818人 550人	3,106人 600人	3,200人 650人	3,400人 700人
②	災害に強い都市空間の形成		安心安全課防災防犯係 地域活性化課地域振興係					
		・制度利用者数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	耐震診断1件	耐震診断3件	補強設計1件	補強設計1件 耐震改修1件	—
③	避難空間の機能向上	・備蓄食糧数	安心安全課防災防犯係	45,410	45,410	購入数79,250 在庫数67,150	74,000	74,000
			地域福祉課地域福祉係					
④	住宅地の防災性の向上	・耐震化率 ・各種制度利用実績	まちづくり推進課 まちづくり推進担当	耐震化率59.75% 耐震診断12件 耐震改修3件	— 耐震診断13件 耐震改修10件	— 耐震診断 5件 耐震改修 3件	— 耐震診断30件 耐震改修15件	— 耐震診断30件 耐震改修15件
		・拡幅整備を行った箇所数	整備課土木整備係	34号線	32号線	623号線 98m 303号線 233m 430号線 127m 22号線 8m	110号線 220m 379号線 60m 706号線 180m 487号線 60m 222号線 130m 524号線 140m	未定
⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上	・公共施設の耐震化進捗状況(未耐震化件数累計)	施設課施設計画係	10	7	2	2	1
⑥	水害対策の推進	・整備率 ・雨水浸透施設の設置数 ・浸透ます、貯留槽設置数	下水道課下水道管理係	雨水管渠整備率72.07%、 道路浸透ます690基、浸透 ます助成37基、貯留槽助 成24基	雨水管渠整備率73.47%、 道路浸透ます617基、浸透 ます助成25基、貯留槽助 成16基	雨水管渠整備率75%、浸 透ます助成31基、貯留槽 助成22基	雨水管渠整備率77%、道 路浸透ます130基、浸透 ます助成50基、貯留槽助 成10基	雨水管渠整備率79%、道 路浸透ます180基、浸透 ます助成50基、貯留槽助 成10基
⑦	犯罪を防止する都市空間づくり	・パトロール実施登録者数 ・メール登録者数 ・刑法犯発生件数	安心安全課防災防犯係	パトロール実施者数634 メール登録者8,288 刑法犯580件	パトロール実施者数619 メール登録者9,502 刑法犯617件	パトロール実施者数753 メール登録者10,508 刑法犯591件	パトロール実施者数645 メール登録者9,900 刑法犯490件	パトロール実施者数650 メール登録者1,100 刑法犯460件
		・安心安全ボランティア登録者数	学校教育課教育庶務係	170人	112人	105人	170人	170人
		・LED本数(LED移行本数)	道路交通課道路管理係	平成24年度まで360本	年間104本	年間135本	年間100本	年間100本
		・交差点改良数 ・ハンパ設置数	整備課土木整備係	—	—	—	未定	未定
			道路交通課道路管理係	カラー舗装マニュアルによる計画的整備4路線 1,315m	カラー舗装マニュアルによる計画的整備4路線 1,315m	カラー舗装マニュアルによる計画的整備 2路線 475.1m	カラー舗装マニュアルによる計画的整備2路線 500m	カラー舗装マニュアルによる計画的整備2路線 500m

4-5 福祉のまちづくり施策

	方 向	指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度実績	指標の平成25年度実績	指標の平成26年度実績	指標の平成27年度予定	指標の平成28年度予定
①	市民のニーズに応じた住まいの確保	・シルバークリア利用率 ・各制度利用者数	高齢障がい課高齢者支援係	いわど 100% のがわ 100% いずみ 94%	各施設100% 介護保険住宅改修250件 高齢者住宅改修25件	各施設100% 介護保険住宅改修274件 高齢者住宅改修37件	各施設100%	各施設100%
			市民課住民記録係	①配布部数 2,000部 ②募集戸数 7 ③倍率 83.7倍(ただし、第四四半期を除く)	①配布部数 2,572部 ②募集戸数 70件 ③11.5倍、6.3倍、22.5倍(ただし、第四四半期を除く)	①2,463 ②募集戸数 44 ③倍率 14.5倍、6.3倍、8.7倍(ただし、第四四半期を除く)	①配布部数 2,150部 ②募集戸数 10 ③倍率 72.0倍(ただし、第四四半期を除く)	①配布部数 2,200部 ②募集戸数 11 ③倍率 68.0倍(ただし、第四四半期を除く)
②	「歩きやすいまちづくり」の推進		環境政策課水と緑の係 道路交通課道路管理係					
③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり	・イベント開催回数	地域活性課コミュニティ文化係	・音楽イベント開催回数23回 ・検手紙イベント開催回数48回	・音楽イベント開催回数30回 ・検手紙イベント開催回数63回	・音楽イベント開催回数28回 ・検手紙イベント開催回数59回	未定	未定
		・地区センター、地域センター、健康増進室、公民館の会議室等の利用状況 ・催し物の参加者数 ・体育施設利用状況、学校開放実績	健康推進課健康推進係	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり
			社会教育課社会教育係	学校開放利用5,909件(2月までの実績)	学校開放利用6,171件	学校開放利用6,453件	学校開放利用6,000件	学校開放利用6,000件
			公民館	175,631人	169,328人	171,178人	176,140人	176,140人
④	公共公益施設の整備・改善	・公共施設のユニバーサル化(福祉基本条例で定める適合証の交付を受けた施設数累計)	施設課施設設計画係	3	4	6	6	7
			健康推進課健康推進係	なし	なし	なし	なし	なし
			地域活性課コミュニティ文化係			1	1	1
		・泊江市福祉基本条例に基づく完了検査の実績	地域福祉課地域福祉係	24	17	18	20	20
		・赤ちゃんふらっと広報実績、都申請件数	子育て支援課企画支援係	1回、0件	0回、0件	0回、0件	1回、1件	1回、1件
⑤	屋外空間の整備・改善	・整備箇所数	道路交通課道路管理係	道路修繕計画策定	道路修繕計画に基づく整備及びユニバーサルデザインの採用による(UDブロック)整備3箇所	道路修繕計画に基づく整備及びユニバーサルデザインの採用による(UDブロック)整備0箇所	道路修繕計画に基づく整備及びユニバーサルデザインの採用による整備3箇所	道路修繕計画に基づく整備及びユニバーサルデザインの採用による整備3箇所

4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策

方 向		指 標	主 管 課 係	指標の平成24年度 実績	指標の平成25年度 実績	指標の平成26年度 実績	指標の平成27年度 予定	指標の平成28年度 予定	
①	景観まちづくりに関 る「拠点」の形成	・史跡等の指定件数 ・史跡の維持・管理実績 ・史跡の整備実績	社会教育課文化財担当	史跡等の新規指定0件 史跡の維持・管理3件 史跡整備0件	史跡等の新規指定1件 史跡の維持・管理4件 史跡整備0件	史跡等の新規指定1件 史跡の維持・管理5件 史跡整備1件	史跡等の新規指定1件 史跡の維持・管理4件 史跡整備1件	史跡等の新規指定1件 史跡の維持・管理5件 史跡整備1件	
②	景観まちづくりに関 わる「軸」の形成	1)水辺の景 観軸	・多摩川河川敷勸告者数 ・多摩川清掃、野川美化清掃の活動 実績、参加者数	環境政策課水と緑の係	・勸告 0件 ・野川清掃 未実施	・勸告 0件 ・野川美化清掃 280人	・勸告 0件 ・野川清掃 278人	・勸告 0件 ・野川清掃 約300 人	・勸告 0件 ・野川清掃 約300 人
		2)緑の景観 軸		環境政策課水と緑の係					
		3)街路の景 観軸	・緑のまち推進補助制度利用件数	環境政策課水と緑の係	3件	2件	2件	15件	15件
				道路交通課道路管理係	3.4.17 (約1,600㎡)				
			・植栽実績	整備課土木整備係	34号線:88㎡	—	—	—	—
・植込み苗数	環境政策課水と緑の係 道路交通課道路管理係	花苗 6,808	花苗8,257	花苗 2,924(環境政策課) 1830(道路交通課)	花苗5,000	花苗5,000			
③	良質な街並みの保全	・生産緑地数 ・景観まちづくりWG実施回数	まちづくり推進課 まちづくり推進担当	142箇所 WGO回	140箇所 WG8回	140箇所 WGO回	142箇所 WG2回	142箇所 WG2回	
④	公共公益施設における文化的拠点 の形成	・市民ホール稼働率	地域活性課コミュニティ 文化係	狛江市市民ホール稼働率 2月実績まで 56.3%	連報値として57.8%	狛江市市民ホール稼働率 2月実績まで 58.0%	平成30年度66.2%	平成30年度66.2%	
⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざ した文化の創造	・狛江のまち・魅力百選冊子配布数	まちづくり推進課 まちづくり推進担当	—	3,000部	6,000部	500部	未定	
		・文化財展、講演会、講座の実施実績 ・古民家園の事業実績、入園者数、 補助金の交付実績	社会教育課文化財担当	文化財展2回 講座・講演会0回 古民家園事業実績40件 古民家園入園者数 25,566人 補助金交付2件30万円	文化財展2回 講座・講演会2回 古民家園事業実績43件 古民家園入園者数 20,889人 補助金交付1件30万円	文化財展1回 講座・講演会3回 古民家園事業実績32件 古民家園入園者数 27,637人 補助金交付30万円	文化財展2回 講座・講演会2回 古民家園事業実績40件 古民家園入園者数 20,000人 補助金交付30万円	文化財展2回 講座・講演会2回 古民家園事業実績40件 古民家園入園者数 20,000人 補助金交付30万円	



第2章 進捗評価シート

1 土地利用の方針

4-1 土地利用の方針

(1)土地利用の基本的な考え方(P29)

後期基本計画上のこの分野の指標	まちづくり協議会等の設置件数(件)	現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性
		5	

地域別	方 向	事 業	指 標	主 管 課 係	予算額(千円)	進捗 評価	ページ
北部	①良好な住宅地環境の維持・形成	・狛江市まちづくり条例に基づく誘導 ・景観まちづくりビジョンの策定(国分寺崖線周辺)、狛江市まちづくり条例の景観部分の追加改正	・条例届出件数 ・景観まちづくりWG、PT開催回数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	(景観) 15,617 (報酬) 1,440	A	10
	②駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・都市計画道路調布3・4・18号線の整備(都施行) ・都市計画道路調布3・4・23号線の整備(優先整備路線)	整備本数・箇所(m)	まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課財産管理係・土木整備係	898	B	11
	③用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・用途地域の見直し(準工業地域北部4ヶ所、その他)	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	【再掲】(報酬) (都市計画) 1,440 3,240	A	12
	④狭あい道路地区における住環境の改善	西野川四丁目及び中和泉五丁目の狭あい道路の解消、木造密集地域の解消検討	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数	道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	C	13
	⑤大規模な開発の適切な誘導	・狛江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議 ・国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画の策定検討 ・都営住宅の建替え	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	【再掲】(報酬) 360	A	14
	⑥農地の保全・活用	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買収 (仮称)東野川近隣公園	買収面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	C	15
	⑦地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進	・【再掲】国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画の策定検討 ・地区計画を利用した緑地保全の検討(東野川樹林地) ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画緑地の整備(旧野川緑地延伸)	・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	—	A	16
中部	①良好な住宅地環境の維持・形成	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく誘導 ・景観まちづくりビジョンの策定(狛江駅周辺)、狛江市まちづくり条例の景観部分の追加改正		まちづくり推進課まちづくり推進担当			
	②駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・南口再開発の検討 ・都市計画道路調布3・4・16号線の整備	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	(整備課) 10,006	A	17
	③用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・準工業地域の用途地域の見直し(中部3ヶ所)	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	【再掲】(報酬) 【再掲】(都市計画) 1,440 3,240	A	18
	④狭あい道路地区における住環境の改善	岩戸地区の狭あい道路の解消、木造密集地域の解消検討	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数	道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	C	19
	⑤大規模な開発の適切な誘導	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議 ・多摩川住宅地区まちづくり協議会の立ち上げ、地区計画の策定検討	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	【再掲】(報酬) 1,440 (多摩川住宅) 1,150	B	20
	⑥農地の保全・活用	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買収、都市計画公園の整備 (仮称)白井塚公園	買収面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	A	21
	⑦地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進	・【再掲】多摩川住宅地区計画の策定 ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画公園の整備(仮称)亀塚歴史公園、(仮称)白井塚歴史公園	買収面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当・まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係	【再掲】 1,150	A	22
南部	①良好な住宅地環境の維持・形成	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく誘導 ・景観まちづくりビジョンの策定(狛江駅周辺)、狛江市まちづくり条例の景観部分の追加改正		まちづくり推進課まちづくり推進担当			
	②駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置	・水道道路の拡幅整備(住民対応) ・【再掲】都市計画道路調布3・4・16号線の整備	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	B	23
	③用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・都市計画道路調布3・4・17号線沿い(新設箇所)用途地域の見直し	・住居系用途への誘導件数 ・用途地域の見直し	まちづくり推進課都市計画担当	【再掲】(報酬) 1,440	D	24
	④狭あい道路地区における住環境の改善						
	⑤大規模な開発の適切な誘導	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議		まちづくり推進課まちづくり推進担当			
	⑥農地の保全・活用	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買収、都市計画公園の整備 (岩戸南3丁目公園、(仮称)岩戸近隣公園、(仮称)駒井町3丁目公園、(仮称)猿方近隣公園、(仮称)駒井近隣公園)	買収面積・整備面積(ha)	まちづくり推進課都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係	—	A	25
	⑦地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進	・地区計画を利用した緑地保全の検討(東和泉地区) ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画公園の整備((仮称)土屋塚歴史公園、(仮称)猿方小川塚公園、(仮称)駒井公園、岩戸川緑地延伸、(仮称)清水川緑地) ・和泉多摩川緑地都立公園化整備推進構想検討	・地区計画策定件数 ・買収面積・整備面積(ha) ・和泉多摩川緑地都立公園化整備推進構想策定委員会開催数	まちづくり推進課まちづくり推進担当・都市計画担当	7,145	A	26
合計額					40,646		

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課				
重点1	・狛江市まちづくり条例に基づく誘導 ・景観まちづくりビジョンの策定（国分寺崖線周辺）、狛江市まちづくり条例の景観部分の追加改正	まちづくり推進課 まちづくり推進担当				
年次計画						
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
内容	条例改正検討	・条例改正済 ・景観まちづくりWG、PTの立ち上げ	景観まちづくりビジョン検討	景観まちづくりビジョン策定	条例改正検討（景観、表彰制度）	
指標の数値	32件	41件 8回（WG） 3回（PT）	30件 4回（WG） 2回（PT）	30件 2回（WG） 2回（PT）	30件 2回（WG）	

指標評価				予算事業名	
指標	・ 条例届出件数 ・ 景観まちづくりWG、PT開催回数			・ 景観色彩・交通実態等調査業務委託 ・ まちづくり委員会委員報酬 ・ 調整会委員報酬 ・ 構想検討会委員報酬	
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）	
41件 8回（WG） 3回（PT）	31件 0回（WG） 1回（PT）	0.76倍 皆減 皆減	d	（景観）15,617 （報酬）1,440	

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	景観まちづくりビジョンについては、平成26年度に色彩ガイドライン案の検討を行った。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	景観まちづくりWGは、景観まちづくりビジョンの策定が平成27年度までかかるため、実施しなかったが、平成27年度は実施する予定である。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課				
重点2	・都市計画道路調布3・4・18号線の整備（都施行） ・都市計画道路調布3・4・23号線の整備（優先整備路線）	まちづくり推進課 まちづくり推進担当 整備課財産管理係・土木整備係				
年次計画						
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
内容	・23年度繰越分整備（3・4・18） ・整備（3・4・23）	整備 （3・4・23）	・整備 （3・4・18） ・用地取得 （3・4・23）	・整備 ・用地取得 （3・4・23）	整備 （3・4・23）	
指標の数値	164m	138m	—	—	—	

指標評価				予算事業名
指標	整備本数・箇所（m）			都市計画道路3・4・23号線整備費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
1本 （138m）	0本	皆減	d	898

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	事業に必要な一部の用地取得が難航している。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	今後は事業実施による周辺への影響について、関係する部署とともに検討し、市として事業を実施することが望ましい。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない	
D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点3	・【再掲】粕江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・用途地域の見直し（準工業地域北部4ヶ所、その他）	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	条例改正検討	条例改正済	準工業地域（全7箇所）についての見直し方針を検討	準工業地域（1箇所目）について働きかけ	準工業地域（1箇所目）について働きかけ
指標の数値	—	誘導件数1件	誘導件数1件	誘導件数1件 協議会1件	誘導件数1件 協議会1件

指標評価				予算事業名
指標	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数			・まちづくり委員会委員報酬（再） ・調整会委員報酬（再） ・構想検討会委員報酬（再） ・都市計画業務支援委託
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
誘導件数1件	誘導件数0件	皆減	d	【再掲】（報酬）1,440 （都市計画）3,240

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	準工業地域の用途地域の見直しについて、各地区ごとの手法と解決策をとりまとめた。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成27年度予算が確保できなかったが、平成28年度から優先順位の高い地区について、取組みを進める予定である。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点4	西野川四丁目及び中和泉五丁目の狭あい道路の解消、木造密集地域の解消検討	道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	方向性検討	町会、自治会へ働きかけ（北部地区）	説明会の実施（北部地区）	協議会立ち上げ
指標の数値	—	—	—	説明会3回	協議会1件

指標評価				予算事業名
指標	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数			—
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）				
視点	検証結果		理由・課題	
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	西野川四丁目及び中和泉五丁目については、準工業地域の地区計画案の検討時に合わせて、地区計画により誘導を図る方向としている。	
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
C	狭あい道路の解消については道路修繕計画で修繕が必要とされた道路については修繕と合わせて進めているが、木造住宅密集地域の西野川四丁目及び中和泉五丁目については、周辺の準工業地域の地区計画の検討時に合わせて誘導を図る必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名				担当課	
重点5	・狛江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議 ・国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画の策定検討 ・都営住宅の建替え				まちづくり推進課 まちづくり推進担当	
年次計画						
年度	H24年度		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	条例改正検討		・条例改正済 ・地区まちづくり協議会立ち上げ	・地区計画素案の確定、地区計画策定 ・都営住宅（都調整）	—	—
指標の数値	協議会 1 件		協議会 1 件	大規模 1 件 地区計画 1 件	大規模 1 件	—

指標評価				予算事業名
指標	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数			・構想検討会委員報酬（再）
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
協議会 1 件	（大規模） 1 件 （地区計画） 1 件	皆増 1 倍	b	【再掲】 360

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画については、予定通り平成26年度に決定告示を行った。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	都営住宅の建替えについては、東京都からその後情報提供を受けていない。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	大規模開発等事業手続については、平成26年度が初年度であったが、届出が1件あり、今後も条例の趣旨に沿った誘導を図る必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点6	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買取 （（仮称）東野川近隣公園）	まちづくり推進課 都市計画担当 整備課土木整備 係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	庁内での検討開始	公園緑地の配置 方針策定	都市計画変 更協議	都市計画変 更協議 都市計画変 更	—
指標の数値	—	—	—	—	—

指標評価				予算事業名
指標	買取面積・整備面積（ha）			—
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	d a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	東野川児童遊園については、土地所有者の意向により借り上げていた土地を返却した。引き続き、東野川地区で土地開発公社を活用した取得について、検討する。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないか検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	— a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
C	生産緑地の買い取り申出に対応できるよう、土地開発公社の活用を検討しつつ、併せて土地購入以外の緑地確保の手法について検討を進める必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		北部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点7	・【再掲】国領八丁目・和泉本町四丁目地区計画の策定検討 ・地区計画を利用した緑地保全の検討（東野川樹林地） ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画緑地の整備（旧野川緑地延伸）	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	公園緑地の配置方針策定	土地所有者との調整	地区計画素案策定	地区計画策定
指標の数値	—	—	—	—	地区計画1件（0.06ha）

指標評価				予算事業名
指標	・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数			—
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	再掲（地区計画）1件	—	a	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	東野川児童遊園については、土地所有者の意向により借り上げていた土地を返却した。引き続き、東野川地区で土地開発公社を活用した取得について、検討する。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	旧野川緑地については、平成27年度に都市計画変更を行う方向で東京都と協議を進めている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない	
D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点8	・南口再開発の検討 ・都市計画道路調布3・4・16号線の整備	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	・南口再開発の検討 ・測量	・継続 ・事業認可	・継続 ・用地買収	・継続 ・継続
指標の数値	—	—	—	—	—

指標評価				予算事業名	
指標	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数			（整備課）都市計画道路調布3・4・16号線整備	
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）	
—	説明会1回 整備箇所数1本	皆増 皆増	a	（整備）10,006	

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	都市計画道路調布3・4・16号線については、事業認可を取得した。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	南口再開発については、引き続き手法を検討する。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない	
D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点9	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・準工業地域の用途地域の見直し（中部3ヶ所）	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	—	準工業地域（全7箇所）についての見直し方針を検討	—	準工業地域（1箇所目）について働きかけ
指標の数値	—	—	—	—	協議会1件

指標評価				予算事業名
指標	・住居系用途への誘導件数 ・地区まちづくり協議会数			・まちづくり委員会委員報酬（再） ・調整会委員報酬（再） ・構想検討会委員報酬（再） ・都市計画業務支援委託（再）
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	—	—	—	【再掲】（報酬）1,440 【再掲】（都市計画）3,240

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	準工業地域の用途地域の見直しについて、各地区ごとの手法と解決策をとりまとめた。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	c a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成27年度予算が確保できなかったが、平成28年度から優先順位の高い地区について、取組みを進める予定である。
事業の執行体制上の課題・その他	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない	
D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点10	岩戸地区の狭あい道路の解消、木造密集地域の解消検討	道路交通課境界確定係・道路管理係 まちづくり推進課まちづくり推進担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	方向性検討	継続	継続	町会、自治会へ働きかけ（中部地区）
指標の数値	—	—	—	—	説明会3回

指標評価				予算事業名
指標	・説明会等の開催件数 ・地区まちづくり協議会数			—
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	木造住宅密集地域の岩戸地区については、調布都市計画道路3・4・16号線の延伸と合わせて地区計画を検討する。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
C	狭あい道路の解消について、道路修繕計画で修繕が必要とされた道路については修繕と合わせて進めているが、木造住宅密集地域の岩戸地区については、調布都市計画道路3・4・16号線の延伸に伴う地区計画の検討時に合わせて誘導を図る必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名		担当課		
重点11	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく大規模開発等事業構想段階の協議 ・多摩川住宅地区まちづくり協議会の立ち上げ、地区計画の策定検討		まちづくり推進課 まちづくり推進担当 ・都市計画担当		
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	・条例改正検討 ・協議会立ち上げ	・条例改正 ・地区計画素案作成	・継続	・地区計画素案策定	・地区計画策定
指標の数値	協議会 1 件	協議会 1 件	協議会 1 件	協議会 1 件	地区計画 1 件 協議会 1 件

指標評価				予算事業名	
指標	・大規模開発等事業構想届出件数 ・地区まちづくり協議会数 ・地区計画策定件数			・まちづくり委員会委員報酬（再） ・調整会委員報酬（再） ・構想検討会委員報酬（再） ・多摩川住宅地区計画関係費負担金	
前年度数値	今年度数値		前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
協議会 1 件	大規模 2 件 協議会 1 件		皆増 1 倍	a	【再掲】（報酬）1,440 （多摩川住宅）1,150

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	各号棟の連携を図る場として役員による協議会があるが、各号棟ごとに地区整備計画素案を練っており、調整する必要がある。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	上記のような課題があり、コンサル費用がそれぞれかかっている。
事業の執行体制上の課題・その他	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	調布市との連携は十分図られている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	各号棟ごとの連携が円滑に図られていないので、今後の協議会の動きに注意していく必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点12	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買取、都市計画公園の整備 （（仮称）白井塚公園）	まちづくり推進課 都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	庁内での検討開始	公園緑地の配置方針策定	都市計画変更協議	都市計画変更協議 都市計画変更	事業認可取得
指標の数値	—	—	—	—	—

指標評価				予算事業名
指標	買取面積・整備面積（ha）			—
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	（仮称）白井塚公園については、平成27年度に都市計画変更を行うため、東京都と協議を進めている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		中部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点13	・【再掲】多摩川住宅地区計画の策定 ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画公園の整備（（仮称）亀塚歴史公園、（仮称）白井塚歴史公園）	まちづくり推進課 都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	庁内での検討開始	公園緑地の配置方針策定	都市計画変更協議	都市計画変更協議 都市計画変更	都市計画変更
指標の数値	—	—	—	—	(0.18ha)

指標評価				予算事業名
指標	買取面積・整備面積（ha）			・多摩川住宅地区計画関係費負担金（再）
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	—	—	—	【再掲】1,150

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	（仮称）亀塚公園及び（仮称）白井塚公園については、平成27年度に都市計画変更を行うため、東京都と協議を進めている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	—	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		南部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点14	- 水道道路の拡幅整備（住民対応） 【再掲】都市計画道路調布3・4・16号線の整備	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	・（都）航空測量	・（都）本測量、住民説明会	・（都）事業認可取得	・（都）整備
指標の数値	—	—	説明会2回	—	—

指標評価				予算事業名
指標	・説明会等の開催件数 ・整備箇所数			—
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	（説明会）1回	皆増	a	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	水道道路の拡幅について、住民に対し説明会を行った。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	今後は事業認可を取得した際に、事業説明を行う必要があるが、平成26年度に行った説明会だけでは事業認可取得に向けて不十分なので、引き続き住民に対し東京都と協同して働きかけが必要となる。
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	水道道路については、調布都市計画道路3・4・16号線の整備が前提として、東京都と調整を進めている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	引き続き住民に対し東京都と協同して働きかけが必要となる。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		南部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点15	・【再掲】狛江市まちづくり条例に基づく住居系用途への誘導 ・都市計画道路調布3・4・17号線沿い（新設箇所）用途地域の見直し	まちづくり推進課 都市計画担当			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	—	—	用途地域の見直し検討	用途地域の見直し検討
指標の数値	—	—	—	—	—

指標評価				予算事業名
指標	・住居系用途への誘導件数 ・用途地域の見直し			・まちづくり委員会委員報酬（再） ・調整会委員報酬（再） ・構想検討会委員報酬（再）
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	—	—	—	【再掲】（報酬）1,440

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	d	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	和泉多摩川緑地の都市計画変更と合わせて路線敷の用途地域の変更を検討していく。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	—	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	—	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
D	和泉多摩川緑地の都市計画変更と合わせて路線敷の用途地域の変更を検討していく必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		南部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点16	公園緑地の配置方針に沿った生産緑地の買取、都市計画公園の整備 （岩戸南3丁目公園、（仮称）岩戸近隣公園、（仮称）駒井町3丁目公園、（仮称）猪方近隣公園、（仮称）駒井近隣公園）	まちづくり推進課 都市計画担当 整備課土木整備係・財産管理係			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	庁内での検討開始	公園緑地の配置方針策定	都市計画変更協議	都市計画変更協議 都市計画変更	都市計画変更
指標の数値	—	—	—	—	（0.35ha）

指標評価				予算事業名
指標	買取面積・整備面積（ha）			—
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	—	—	—	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	（仮称）駒井公園については、平成27年度に都市計画変更を行うため、東京都と協議を進めている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		地域
4-1 土地利用の方針		南部
施策の内容	①	良好な住宅地環境の維持・形成
	②	駅前や幹線道路沿道への公益機能・交流機能の配置
	③	用途や建築形態が混在する地区における開発の適切な規制・誘導
	④	狭あい道路地区における住環境の改善
	⑤	大規模な開発の適切な誘導
	⑥	農地の保全・活用
	⑦	地区の個性を活かす、きめ細かなまちづくりの推進

事業No.	事業名	担当課			
重点17	・地区計画を利用した緑地保全の検討（東和泉地区） ・公園緑地の配置方針に沿った都市計画公園の整備（（仮称）土屋塚歴史公園、（仮称）猪方小川塚公園、（仮称）駒井公園、若戸川緑地延伸、（仮称）清水川緑地） ・和泉多摩川緑地都立公園化整備推進構想検討	まちづくり推進課 まちづくり推進担当・都市計画担当			
年次計画					
年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内容	—	公園緑地の配置方針策定	・土地所有者との調整 ・和泉多摩川緑地（庁内検討委員会・構想策定委員会）	・地区計画素案策定 ・都市計画変更協議 ・和泉多摩川緑地（庁内検討委員会・構想策定委員会）	・都市計画変更 ・地区計画策定
指標の数値	—	—	・庁内検討委員会9回、構想策定委員会3回（和泉多摩川緑地）	・庁内検討委員会1回、構想策定委員会1回（和泉多摩川緑地）	・地区計画1件（東和泉地区地区計画） ・（0.57ha） ・（0.35ha）（再）

指標評価				予算事業名
指標	・地区計画策定件数 ・買取面積・整備面積（ha） ・和泉多摩川緑地都立公園化整備推進構想策定委員会開催数			和泉多摩川緑地都立公園化整備推進関係費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	（和泉多摩川緑地）3回	皆増	a	7,145

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	和泉多摩川緑地都立公園誘致推進構想は、平成27年10月に策定の予定で、順調に進んでいる。都市計画公園については、平成27年度に都市計画変更を行うため、東京都と協議を進めている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	土地購入による緑地確保には限界があるため、公園・緑地の配置方針で挙げた他の緑地確保の手法について活用できないかを検討する。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

第2章 進捗評価シート

2 道路・交通網整備の方針

4-2 道路・交通網整備の方針

(2)道路・交通網整備施策の方向(P35)

【上位計画】東京都区域マスの指標(2025年) 参考			
車の混雑時平均旅行速度 30km/h			
		現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性
後期基本計画上のこの分野の指標	修繕を行った道路(市道)の総延長(m)【重点】	—	18,000
	放置自転車の年間撤去台数(台)【個別】	2,408	↓

	方 向	事 業	指 標	主 管 課 係	予算額(千円)	進捗 評価	ページ
①	歩行空間の充実	・調布3・4・16号線整備事業・調布3・4・4号線整備事業(終了) ・市道34号線整備事業・市道32号線整備事業(終了) ・要修繕箇所の整備	歩道整備箇所の延長(m)・数 (修繕含む)	整備課土木整備係・財産管理 係	10,904	B	28
		ポケットパーク、休憩用ベンチ・思いやりベンチの設置	休憩用ベンチ・思いやりベンチの設 置数	道路交通課道路管理係 環境政策課水と緑の係 整備課土木整備係	497 300	A	29
②	自転車利用環境の改善	・小学生向け自転車教室、中学生向け交通安全教育、一般向け自転 車交通安全教室の開催 ・自転車グッドライダーシールの交付	・自転車マナー教室参加者数 ・自転車関与交通事故件数	道路交通課交通対策係	3,348	A	30
		駐輪場の整備、放置自転車対策、自転車走行空間の整備	放置自転車数	道路交通課交通対策係	21,195	A	31
③	交通機関の利用に関わる利便性など の向上	こまバスの運行	こまバス利用者数	道路交通課交通対策係	11,417	A	32
		地下駐車場の適切な維持、管理	地下駐車場利用者数	道路交通課交通対策係	(一般) 33,870 (特別) 19,005 (合計) 52,875	B	33
④	体系的な道路網整備	・【再掲】調布3・4・16号線整備事業 ・【再掲】市道34号線整備事業 ・【再掲】市道32号線整備事業(終了)	整備済み本数 (都市間幹線道路、主要幹線道路 及び補助幹線道路、主要生活道 路、生活道路)	整備課土木整備係・財産管理 係	【再掲】 10,904	B	34
		・地域内の交通を支える生活道路の管理 ・狭あい道路の整備	現状適正状態にある道路割合	道路交通課境界確定係・道路 管理係 整備課土木整備係・財産管理 係	(道路交通課) 26,000 (整備課) 152,257	A	35
					「4-2道路・交通網整備の方 針」の予算額合計(A)	278,793	
					他の方針との 重複予算額(B)	0	
					合計額 (A)-(B)	278,793	

施策（方針番号）		
4-2 道路・交通網整備施策		
施策の内容	①	歩行空間の充実
	②	自転車利用環境の改善
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④	体系的な道路網整備

事業No.	事業名	担当課
1	・調布3・4・16号線整備事業・調布3・4・4号線整備事業（終了） ・市道34号線整備事業・市道32号線整備事業（終了） ・要修繕箇所の整備	整備課土木整備係・財産管理係

指標評価				予算事業名
指標	歩道整備箇所の延長（m）・数（修繕含む）			調布3・4・16号線及び市道34号線整備費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
84m	40m	0.48倍	d	10,904

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	市道34号線については、都度延伸している。七差路の安全確保については、電中研前の道路整備の中で行う予定。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	今後は事業実施による周辺への影響について、関係する部署とともに検討し、市として事業を実施することが望ましい。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	34号線の整備については、残物件についての対応を迫られているため、引き続き協議を行い、対応を検討する必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-2 道路・交通網整備施策		
施策の内容	①	歩行空間の充実
	②	自転車利用環境の改善
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④	体系的な道路網整備

事業No.	事業名				担当課
2	ポケットパーク、休憩用ベンチ・思いやりベンチの設置				道路交通課道路管理係 環境政策課水と緑の係 整備課土木整備係

指標評価					予算事業名
指標	休憩用ベンチ・思いやりベンチの設置数				交通安全施設整備費 思いやりベンチ設置委託
前年度数値	今年度数値		前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
5基	道路交通課 2基 環境政策課 3基		1 倍	b	（道路交通課）497 （環境政策課）300

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	市民からの要望をベースに、毎年2基を目安に設置している。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	寄附をいただいて設置する方式（思いやりベンチ事業）を平成26年度から実施し、実績として4基寄附していただいた。
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	設置する場所が道路であれば道路交通課道路管理係、そうでない場合には環境政策課水と緑の係、新設する児童遊園については整備課土木整備係が対応するため、連携を行っている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-2 道路・交通網整備施策		
施策の内容	①	歩行空間の充実
	②	自転車利用環境の改善
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④	体系的な道路網整備

事業No.	事業名				担当課
3	・小学生向け自転車教室、中学生向け交通安全教育、一般向け自転車交通安全教室の開催 ・自転車グッドライダーシールの交付				道路交通課交通対策係

指標評価					予算事業名
指標	・自転車マナー教室参加者数 ・自転車関与交通事故件数				交通安全対策費
前年度数値	今年度数値		前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
1,448人 15件	1,353人 13件		0.93倍 0.87倍	b	3,348

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	学校単位での参加になっているので、児童数が減少している影響で、自転車マナー教室参加者数が減少した。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	スタントマンを使った教室は好評のため、継続していきたい。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-2 道路・交通網整備施策		
施策の内容	①	歩行空間の充実
	②	自転車利用環境の改善
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④	体系的な道路網整備

事業No.		事業名			担当課	
4		駐輪場の整備、放置自転車対策、自転車走行空間の整備			道路交通課交通対策係	

指標評価					予算事業名
指標	放置自転車数				自転車整理関係費
前年度数値	今年度数値		前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
狛江駅102台 和泉多摩川駅10台 喜多見駅4台	狛江駅92台 和泉多摩川駅12台 喜多見駅5台		0.9倍 1.2倍 1.25倍	a	21,195

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）				
視点	検証結果		理由・課題	
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成27年度は、指導員については、環境政策課の路上喫煙禁止に関する監視員と重複させることで対応する。	
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	商店街の買物客の短時間駐輪への対応は、空き店舗を活用する等の工夫が必要で、地域活性課との連携が重要である。（例：狛江駅南口商店街の駐輪施設）	

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-2 道路・交通網整備施策		
施策の内容	①	歩行空間の充実
	②	自転車利用環境の改善
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④	体系的な道路網整備

事業No.	事業名			担当課
5	こまバスの運行			道路交通課交通対策係

指標評価				予算事業名
指標	こまバス利用者数			コミュニティバス関係費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
160,967人	178,530人	1.11倍	a	11,417

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	シルバーパスの利用者が増えている。シルバーパス以外の利用者を増やすため、イベントを実施する予定である。
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	シルバーパス以外の利用者を増やす努力を引き続き行う必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-2 道路・交通網整備施策		
施策の内容	①	歩行空間の充実
	②	自転車利用環境の改善
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④	体系的な道路網整備

事業No.	事業名				担当課
6	地下駐車場の適切な維持、管理				道路交通課交通対策係

指標評価				予算事業名
指標	地下駐車場利用者数			狛江駅北口第1地区再開発ビル地下駐車場管理運営費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
車92,504台 バイク215台	車95,019台 バイク283台	1.03倍 1.32倍	a	（一般）33,870 （特別）19,005 （合計）52,875

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	地下駐車場の一定程度の利用を確保することが難しくなりつつある。駅前の商店街やタワー駐車場がなくなってしまった店舗等に利用を促している状況である。
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	地下駐車場の利用を商店街にも促すため、地域活性化課と連携する必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	地下駐車場の一定程度の利用を確保することが難しくなりつつある中で、平成29年度には大規模改修が予定されており（公共施設整備計画）、効率的な運営の方策を抜本的に検討する時期に来ている。
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-2 道路・交通網整備施策		
施策の内容	①	歩行空間の充実
	②	自転車利用環境の改善
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④	体系的な道路網整備

事業No.	事業名	担当課
7	・【再掲】調布3・4・16号線整備事業 ・【再掲】市道34号線整備事業 ・【再掲】市道32号線整備事業（終了）	整備課土木整備係・財産管理係

指標評価				予算事業名
指標	整備済み本数 （都市間幹線道路、主要幹線道路及び補助幹線道路、主要生活道路、生活道路）			調布3・4・16号線及び34号線整備事業（再）
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
1箇所 （32号線82m）	4箇所（466m）	4.8倍	a	【再掲】10,904

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	市道34号線については、都度延伸している。七差路の安全確保については、電中研前の道路整備の中で行う予定。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	今後は事業実施による周辺への影響について、関係する部署とともに検討し、市として事業を実施することが望ましい。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	34号線の整備については、残物件についての対応を迫られているため、引き続き協議を行い、対応を検討する必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-2 道路・交通網整備施策		
施策の内容	①	歩行空間の充実
	②	自転車利用環境の改善
	③	交通機関の利用に関わる利便性などの向上
	④	体系的な道路網整備

事業No.	事業名				担当課
8	・地域内の交通を支える生活道路の管理 ・狭あい道路の整備				道路交通課境界確定係・道路管理係 整備課土木整備係・財産管理係

指標評価				予算事業名
指標	現状適正状態にある道路割合			道路維持費及び道路新設費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
77%	79%	1.03倍	a	（道路交通課）26,000 （整備課）152,257

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	道路修繕計画に沿ってD、Eランクの修繕を計画通り進めている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	主要幹線道路が平成24年度から比べ、劣化している。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

第2章 進捗評価シート

3 環境まちづくりの方針

4-3 環境まちづくりの方針

(2) 環境まちづくり施策の方向(P41)

【上位計画】区域マス上の指標(2025年)			
・緑地の確保水準 30%以上(都市計画区域に対し) ・高規格堤防の整備 ・公園緑地 本区域内人口1人当たり21㎡確保			
		現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性
後期基本計画上のこの分野の指標	多摩川・野川対象のイベント等の参加者数(人)【個別】	5,783	↗
	樹林地・都市公園・児童遊園の合計面積(㎡)【個別】	121,310	↗
	市民1人当たりの年間ごみ排出量(Kg/年)【個別】	27.481	↘
	ごみの資源化率(%)【個別】	37.7	↗
	資源物の資源化量のうち、集団回収が占める割合(%)【個別】	23.6	↗

方 向			事 業	指 標	主 管 課 係	予算額(千円)	進捗	ページ
①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成	1)水の拠点	拍江水辺の楽校、せせらぎ保全活動、弁財天池保全活動	・水辺の楽校参加者数 ・せせらぎ保全活動実績 ・弁財天池保全活動実績	環境政策課水と緑の係	(水辺の楽校) 786 (弁財天) 7,093	B	38
		2)緑の拠点	【再掲】和泉多摩川緑地都立公園化(組織改正含む)	(組織改正完了) ・構想策定委員会開催回数	政策室企画調整担当 まちづくり推進課都市計画担当	【再掲】 7,145	A	39
			樹林地の保全	・緑被率 ・樹林地の確保実績	環境政策課水と緑の係	36	C	40
		3)農の拠点	・認定農業者制度及び農業経営改善補助金制度の推進 ・市民農園の設置及び運営 ・農業体験農園補助事業の実施	・認定農業者数 ・市民農園の利用率 ・体験農園の利用効率	地域活性課地域振興係	(農業振興) 11,413 (市民農園) 2,404	A	41
			防災農地の確保	避難場所農地の数	安心安全課防災防犯係	108	B	42
②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成	1)水のネットワーク	・多摩川、野川の流域自治体や管理者である国土交通省、東京都と協働した活動	協議、活動回数	環境政策課水と緑の係	110	B	43
			・野川美化清掃 ・多摩川統一清掃	・野川統一清掃の参加人数 ・多摩川統一清掃の参加人数	環境政策課水と緑の係 清掃課業務係	(野川) 228 (多摩川) 100	B	44
			清水川整備事業	(完了)	整備課土木整備係			
		2)緑のネットワーク	街路樹、緑道の維持管理	・整備回数(実績) ・水路の緑道化の実績	環境政策課水と緑の係 道路交通課道路管理係・境界確定係	(環境政策課) 1,068 (道路交通課) 525	B	45
③	環境まちづくりの促進	1)公共空間の緑化の推進	公共施設のまちづくり条例、緑の保全に関する条例に基づく緑化等の推進	公共施設の届出件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当 環境政策課水と緑の係	—	B	46
			・本庁舎の緑化 ・学校緑化基本方針に基づく校庭芝生及び屋上緑化の維持管理、緑のカーテンの設置	緑のカーテン実績	環境政策課水と緑の係 学校教育課教育庶務係	(小学校) 137,333 (中学校) 78,576 (学校維持管理費)	A	47
		2)民有地の緑地保全と農地の活用	(再掲) ・市民農園の設置及び運営 ・農業体験農園補助事業の実施		地域活性課地域振興係			
			(再掲) ・樹林地の保全、新規指定		環境政策課水と緑の係			
		3)民有地の緑化の推進	緑化推進事業(生垣助成、苗木等の配布)、まちづくり条例に基づく提供公園	提供公園実績(面積等)	環境政策課水と緑の係	(緑化推進) 1,071 (花いっぱい環境政策課) 1,068 【再掲】	B	48
④	公園・緑地の維持・管理と整備	公園・緑地の維持・管理	維持・管理回数	整備課土木整備係 環境政策課水と緑の係	(整備課) 58,115 (環境政策課) 94,106	B	49	
						「4-3環境まちづくりの方針」の予算額合計(A)	400,217	
						他の方針との重複予算額(B)	7,145	
						合計額 (A)-(B)	393,072	

施策（方針番号）	
4-3 環境まちづくり施策	
施策の内容	① 環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	② 環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③ 環境まちづくりの促進
	④ 公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名	担当課
9	粕江水辺の楽校、せせらぎ保全活動、弁財天池保全活動	環境政策課水と緑の係

指標評価				予算事業名
指標	- 水辺の楽校参加者数 - せせらぎ保全活動実績 - 弁財天池保全活動実績			水辺の楽校推進 弁財天池緑地管理費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
4,015人 1,528人（弁）	4,064人 1,495人（弁）	1.01倍 0.98倍	b	（水辺の楽校）786 （弁財天）7,093

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	弁財天池特別緑地保全地区の開放日を増やすことについては、平成27年度から団体へ働きかけていく。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	各学校の総合学習の位置づけで行われている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名			担当課
10	【再掲】和泉多摩川緑地都立公園化（組織改正含む）			政策室企画調整担当 まちづくり推進課都市計画担当

指標評価				予算事業名
指標	（組織改正完了） ・構想策定委員会開催回数			和泉多摩川緑地都立公園化整備推進関係費（再）
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	3回	皆増	a	【再掲】7,145

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	計画通り、進行している。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名				担当課
11	樹林地の保全				環境政策課水と緑の係

指標評価				予算事業名
指標	・緑被率 ・樹林地の確保実績			緑の基本計画推進
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
0箇所	0箇所	—	b	36

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成26年度に生き物観察会は実施した。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成26年度ワークショップは開催できなかった。引き続き、樹林地について市民による管理体制を模索する。
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	樹林地を確保する上で、管理体制だけでなく買収コストが不足しており、新たな確保手法（借地）の検討が不可欠である。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
C	平成26年度ワークショップは開催できなかったため、引き続き樹林地について市民による管理体制を模索する。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名				担当課
12	・ 認定農業者制度及び農業経営改善補助金制度の推進 ・ 市民農園の設置及び運営 ・ 農業体験農園補助事業の実施				地域活性課地域振興係

指標評価					予算事業名
指標	・ 認定農業者数 ・ 市民農園の利用率 ・ 体験農園の利用率				農業振興関係費 市民農園関係費
前年度数値	今年度数値		前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
19人 100% 98%	20人 100% 100%		1.05倍 1倍 1.02倍	a	（農業振興） 11,413 （市民農園） 2,404

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	認定農業者の再認定の制度が始まったので、今後認定農業者数に変動が生じる可能性がある。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	再認定については、助成金を減額した。
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	市民農園の数は、開発等が進み、減っている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名				担当課
13	防災農地の確保				安心安全課防災防犯係

指標評価				予算事業名
指標	避難場所農地の数			災害対策関係費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
0箇所	0箇所	—	b	108

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成27年3月から呼びかけ、1件来ている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成26年度までJAと調整中だったが、結局市が単独で呼びかけを行うことになった。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	引き続き、市が積極的に呼びかけを行っていく必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名			担当課
14	・多摩川、野川の流域自治体や管理者である国土交通省、東京都と協働した活動			環境政策課水と緑の係

指標評価				予算事業名
指標	協議、活動回数			東京河川改修促進連盟負担金、野川・仙川改修促進期成同盟負担金、多摩川整備促進協議会負担金、野川流域環境保全協議会負担金
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
野川流域連絡会 流量調査 4回	野川流域連絡会流量調査 4回	1 倍	b	110

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	—

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名		担当課	
15	- 野川美化清掃 - 多摩川統一清掃		環境政策課水と緑の係 清掃課業務係	

指標評価				予算事業名
指標	- 野川統一清掃の参加人数 - 多摩川統一清掃の参加人数			河川環境整備費 地域美化関係費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
280人 1,863人	278人（野川） 1,847人（多摩川）	0.99倍 0.99倍	b	（野川） 228 （多摩川） 100

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成27年度からは多摩川統一清掃についても環境政策課の所管となる。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名			担当課
16	街路樹、緑道の維持管理			環境政策課水と緑の係 道路交通課道路管理係・ 境界確定係

指標評価				予算事業名
指標	- 整備回数（実績） - 水路の緑道化の実績			「花いっぱいエリア」事業
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
花いっぱい事業4箇所 3・4・17緑地帯	花いっぱい事業(三角地) 3・4・17緑地帯 ふれあい側道他2箇所	1.33倍	a	(環境政策課) 1,068 (道路交通課) 525

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	3・4・17緑地帯については、雑草やごみ等の苦情が多く、現在2団体のアドプトをさらに増やしていく働きかけを行っている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	公園・緑地の配置方針で岩戸川緑道の延伸及び清水川公園北側道路を緑道化する予定を盛り込んでいるため、まちづくり推進課と連携して計画を進めたい。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名			担当課
17	公共施設のまちづくり条例、緑の保全に関する条例に基づく緑化等の推進			まちづくり推進課まちづくり推進担当 環境政策課水と緑の係

指標評価				予算事業名
指標	公共施設の届出件数			—
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
3件	3件	1倍	b	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成25年度に緑の保全に関する条例や緑の保全に関する条例施行規則の改正を行い、現実的な緩和措置を設けた上で、緑被率の基準を高め、公共施設の緑化を引き続き進めていく。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名				担当課
18	・本庁舎の緑化 ・学校緑化基本方針に基づく校庭芝生及び屋上緑化の維持管理、緑のカーテンの設置				環境政策課水と緑の係 学校教育課教育庶務係

指標評価				予算事業名
指標	緑のカーテン実績			緑化推進 学校維持管理費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
庁舎前0箇所 学校9箇所	庁舎前1箇所 学校10箇所	皆増 1.11倍	a	緑のカーテンとしての 単独予算はなし (小学校) 137,333 (中学校) 78,576

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	防災センターの建設工事が完了し、平成26年度は庁舎でも実施できた。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.順調である b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名				担当課
19	緑化推進事業（生垣助成、苗木等の配布）、まちづくり条例に基づく提供公園				環境政策課水と緑の係

指標評価				予算事業名
指標	提供公園実績（面積等）			緑化推進補助「花いっぱいエリア」事業
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
528.01㎡（い） 586.84㎡（和）	0	皆減	d	（緑化推進）1,071 （花いっぱい・環境政策課）1,068

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	提供公園が発生する開発等事業がなかったため、皆減となっている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	※ 生垣助成、苗木等の配布については、事業43・45。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	まちづくり協力金による協力を増やし、計画的に緑地を配置していく方向へまちづくり協力金の制度内容を変更する必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	まちづくり協力金による協力を増やし、計画的に緑地を配置していく方向へまちづくり協力金の制度内容を変更する必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-3 環境まちづくり施策		
施策の内容	①	環境まちづくり施策に関わる「拠点」の形成
	②	環境まちづくり施策に関わる「水と緑のネットワーク」の形成
	③	環境まちづくりの促進
	④	公園・緑地の維持・管理と整備

事業No.	事業名				担当課
20	公園・緑地の維持・管理				整備課土木整備係 環境政策課水と緑の係

指標評価				予算事業名
指標	維持・管理回数			プレーパーク費及び児童遊園費 都市公園維持管理費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
除草年3回 清掃年35回	除草年3回 清掃年35回	1 倍 1 倍	b	（整備課）58,115 （環境政策課）94,106

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

第2章 進捗評価シート

4 安心・安全まちづくりの方針

4-4 安心・安全まちづくりの方針

(2) 安心・安全まちづくり施策の方向 (P48)

【上位計画】区域マスの指標(2025年)					
・市街地2km圏毎に広域避難場所確保 ・木造建築物密集地区の解消 ・高規格堤防の整備					
				現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性
後期基本計画上のこの分野の指標	避難所運営協議会設置数(箇所)【重点】	2(H24.12)	13		
	市内刑法犯認知件数のうち、窃盗犯・粗暴犯・その他の合計件数(件)【重点】	740(H22)	640		
	最近1年間に防災に関する催しに参加したことがある市民の割合(%)【重点】	18.5	30		
	災害時要援護者支援組織設立準備数(箇所)【重点】	1	20		
	公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)【重点】	92.4(H24.4.1)	100(H32.4.1)		
	耐震性能が確保された住宅に住んでいる市民の割合(%)【個別】	57.5	↑		
	市内交通事故発生件数(件)	211	↓		
	自然災害に対して何らかの備えをしている市民の割合(%)	61.6	↑		
	耐震化していない公共施設数(施設)【個別】	12	↓		
	空き巣・ひったくり・振り込み詐欺などの犯罪に対して何らかの対策をとったり、心がけていることがある市民の割合(%)【個別】	59.5	↑		
	非構造部材耐震化学校数(校)【個別】	0	↑		
	雨水管渠の整備率(%)【個別】	69.0	↑		
雨水浸透ます設置基数(基)【個別】	3,547	↑			

方 向	事 業	指標案	主 管 課 係	予算額(千円)	進 捗	ページ
① 総合的な防災対策の推進	・地域防災計画修正 ・避難所運営協議会の設置支援 ・地域への避難所等鍵の配布 ・自主防災組織への補助(防災会、避難所運営協議会) ・災害対策・ソフト面(総合防災訓練、水防訓練、防災講演会の実施) ・資機材、備蓄品の整備 ・洪水・地震ハザードマップの作成・配布(各戸・転入者) ・安心安全情報メール、エリアメール(ドコモ・au・ソフトバンク)の活用 ・公共施設等へのPHS配布 ・協定の見直し及び新たな協定の締結	・避難所運営協議会数 ・訓練参加者数	安心安全課防災防犯係	1,602	A	52
	災害時要援護者対策	・避難行動要支援者名簿登録数 ・ヘルプカード交付者数	地域福祉課地域福祉係	3,535	A	53
② 災害に強い都市空間の形成	(再掲) 防災農地の確保		安心安全課防災防犯係 地域活性化課地域振興係			
	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化	制度利用者数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	8,610	A	54
③ 避難空間の機能向上	・資機材、備蓄品の整備 ・備蓄倉庫の修繕 ・新たな備蓄品保管スペースの確保 ・マンホールトイレの設置(1か所) ・防災公園の検討(和泉多摩川緑地)	・備蓄食糧数	安心安全課防災防犯係	10,800	A	55
	(再掲) ・災害時要援護者対策		地域福祉課地域福祉係			
④ 住宅地の防災性の向上	・住宅耐震診断、耐震改修等の耐震促進 ・【再掲】特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化	・耐震化率 ・各種制度利用実績	まちづくり推進課まちづくり推進担当	13,080	A	56
	・【再掲】狭い道路の拡幅(道路修繕計画を進めた結果として、4m未満の道路を拡幅) ・【再掲】拡幅事業	拡幅整備を行った箇所数	道路交通課境界確定係・道路管理係 整備課財産管理係・土木整備係	【再掲】 109,298	A	57
⑤ 建築物の耐震性・耐火性の向上	・小中学校の耐震化(平成24年度までに完了) ・市庁舎及び避難所耐震化(平成25年度末、西和泉体育館除く) ・西和泉体育館(平成26年度) ・その他公共建築物(平成27年度)	公共施設の耐震化進捗状況(未耐震化件数累計)	施設課設計計画係 (他課分もある)	696,501	A	58
	(再掲) ・住宅耐震診断、耐震改修等の耐震促進 ・特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化		まちづくり推進課まちづくり推進担当			
⑥ 水害対策の推進	雨水管渠布設、雨水浸透施設の設置、既設管渠の改築、浸透ます・貯留槽設置助成	・整備率 ・雨水浸透施設の設置数 ・浸透ます、貯留槽設置助成数	下水道課下水道管理係	143,112	B	59
	(再掲) ・災害対策・ソフト面(水防訓練等の実施) ・資機材、備蓄品の整備 ・洪水ハザードマップの作成・配布(各戸・転入者)		安心安全課防災防犯係			
⑦ 犯罪を防止する都市空間づくり	・安心安全パトロールの推進 ・安心安全情報メールの活用	・パトロール実施登録者数 ・メール登録者数 ・刑法犯発生件数	安心安全課防災防犯係	10,036	A	60
	学校安全ボランティアの活用	学校安全ボランティア登録者数	学校教育課教育庶務係	10,633	A	61
	街路灯のLED化	LED本数(LED移行本数累計)	道路交通課道路管理係	5,000	A	62
⑧ 交通事故を防止する都市空間づくり	【再掲】 ・小学生向け自転車教室、中学生向け交通安全教育、一般向け自転車交通安全教室の開催 ・自転車グッドライダーシールの交付		安心安全課防災防犯係			
	【再掲】調布3・4・16号線整備事業(七差路)	・交差点改良数 ・ハンプ設置数 ・カラー舗装延長数	整備課土木整備係	34,491	A	63
	交通安全施設整備		道路交通課道路管理係 整備課土木整備係			
				「4-4安心・安全まちづくりの方針」の予算額合計(A)	1,046,698	
				他の方針との重複予算額(B)	109,298	
				合計額 (A)-(B)	937,400	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.		事業名			担当課	
21		・地域防災計画修正 ・避難所運営協議会の設置支援 ・地域への避難所等鍵の配布 ・自主防災組織への補助（防災会、避難所運営協議会） ・災害対策・ソフト面（総合防災訓練、水防訓練、防災講演会の実施） ・資機材、備蓄品の整備 ・洪水・地震ハザードマップの作成・配布（各戸+転入者） ・安心安全情報メール、エリアメール（ドコモ・au・ソフトバンク）の活用 ・公共施設等へのPHS配布 ・協定の見直し及び新たな協定の締結			安心安全課防災防犯係	

指標評価				予算事業名	
指標		・避難所運営協議会数 ・訓練参加者数		災害対策関係費	
前年度数値		今年度数値		前年度比（倍）	結果
5箇所 1,766名		11箇所 2,241名		2.2倍 1.27倍	a
					今年度予算額（千円）
					1,602

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）				
視点		検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。		a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。		a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他		a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	世田谷区と合同訓練を行う等、十分な連携を図っている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名				担当課
22	災害時要援護者対策				地域福祉課地域福祉係

指標評価					予算事業名
指標	・避難行動要支援者名簿登録数 ・ヘルプカード交付者数				避難行動要支援者支援事業
前年度数値	今年度数値		前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
2,818人 550人	3,106人 600人		1.1倍 1.09倍	a	3,535

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）				
視点	検証結果		理由・課題	
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成26年度には視覚障がい者を対象に災害用ベストを配布し、平成27年度には聴覚障がい者にまで拡大する予定である。	
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名			担当課
23	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化			まちづくり推進課まちづくり推進担当

指標評価				予算事業名
指標	制度利用者数			住宅耐震診断等助成
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
診断3件	補強設計1件	—	—	8,610

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	診断が終了している3件のうち、1件を平成26年度に、もう1件を平成27年度に改修を行う。残り1件は、組合にて検討中である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名				担当課
24	・資機材、備蓄品の整備 ・備蓄倉庫の修繕 ・新たな備蓄品保管スペースの確保 ・マンホールトイレの設置（1か所） ・防災公園の検討（和泉多摩川緑地）				安心安全課防災防犯係

指標評価				予算事業名
指標	・ 備蓄食糧数			災害対策関係費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
45,410食	購入数ベース：79,250食 在庫数ベース：67,150食	1.48倍 （在庫数ベース）	a	10,800

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	備蓄品保管スペースとして、学校の空きスペースを提供いただいている。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名				担当課
25	・住宅耐震診断、耐震改修等の耐震促進 ・【再掲】特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化				まちづくり推進課まちづくり推進担当
指標評価					予算事業名
指標	・耐震化率 ・各種制度利用実績				住宅耐震診断等助成
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）	
59.75% 診断13件 改修10件	62.34%(推定値) 診断5件 改修3件	1.04倍 0.38倍 0.3倍	c	13,080	
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）					
視点	検証結果		理由・課題		
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	耐震化率については、耐震改修促進計画の目標に対してかなり低い率で推移しており、引き続き啓発が必要である。		
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—		
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—		
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）					
評価結果	コメント				
A	—				
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない					

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名			担当課
26	・【再掲】狭あい道路の拡幅（道路修繕計画を進めた結果として、4m未満の道路を拡幅） ・【再掲】拡幅事業			道路交通課境界確定係・道路管理係 整備課財産管理係・土木整備係

指標評価				予算事業名
指標	拡幅整備を行った箇所数			道路新設改良費及び34号線、3・4・16号線整備費（再）
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
1箇所（32号線）	4箇所（303号線、623号線、430号線、22号線）	4倍	a	【再掲】109,298

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名			担当課
27	・小中学校の耐震化（平成24年度までに完了） ・市庁舎及び避難所耐震化（平成25年度末。西和泉体育館除く） ・西和泉体育館（平成26年度） ・その他公共建築物（平成27年度）			施設課施設計画係（他課分もある）

指標評価				予算事業名
指標	公共施設の耐震化進捗状況（未耐震化件数累計）			保育園維持管理費 地域・地区センター費 消防施設整備費 西和泉体育館、西和泉グラウンド維持管理費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
7件	2件	3.5倍	a	696,501

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	公共施設整備計画に示されている予定通りの進捗となっている。宮前保育園分（平成26年度から平成27年度に行う予定）を前倒ししている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.		事業名			担当課	
28		雨水管渠布設、雨水浸透施設の設置、既設管渠の改築、浸透ます・貯留槽設置助成			下水道課下水道管理係	

指標評価					予算事業名
指標		・整備率 ・雨水浸透施設の設置数 ・浸透ます、貯留槽設置助成数			管渠整備費 管渠維持管理費
前年度数値	今年度数値		前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
73.47% 道路浸透ます617基 浸透ます助成25基 貯留槽助成16基	75.45% 浸透ます助成31基 貯留槽助成22基		1.03倍 — 1.24倍 1.38倍	b	143,112

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）				
視点		検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。		b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない		平成27年度から道路浸透ますについては、市が実施する分のみで指標とすることとした。平成27年度からは再び件数を計上することとなる。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。		b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない		浸透ますや浸透トレンチについては、成果が出にくいので、耐震化の方を優先的にやっている。
事業の執行体制上の課題・その他		b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない		—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	—

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名		担当課	
29	・安心安全パトロールの推進 ・安心安全情報メールの活用		安心安全課防災防犯係	

指標評価				予算事業名
指標	・パトロール実施登録者数 ・メール登録者数 ・刑法犯発生件数			生活安全対策関係費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
619人 9,502人 617件	753人 10,508人 591件	1.22倍 1.11倍 0.96倍	a	10,036

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.順調である b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.順調である b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.順調である b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名			担当課
30	学校安全ボランティアの活用			学校教育課教育庶務係

指標評価				予算事業名
指標	学校安全ボランティア登録者数			学校安全対策費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
112人	105人	0.94倍	b	10,633

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	登録は1年ごとに更新であり、引き続き登録者数を確保できるよう働きかける。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名				担当課
31	街路灯のLED化				道路交通課道路管理係

指標評価				予算事業名
指標	LED本数（LED移行本数累計）			街路灯維持管理費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
464本 （伸び104本）	695本 （伸び135本）	1.5倍	a	5,000

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-4 安心・安全まちづくり施策		
施策の内容	①	総合的な防災対策の推進
	②	災害に強い都市空間の形成
	③	避難空間の機能向上
	④	住宅地の防災性の向上
	⑤	建築物の耐震性・耐火性の向上
	⑥	水害対策の推進
	⑦	犯罪を防止する都市空間づくり
	⑧	交通事故を防止する都市空間づくり

事業No.	事業名			担当課
32	交通安全施設整備			道路交通課道路管理係 整備課土木整備係

指標評価				予算事業名
指標	・交差点改良数 ・ハンプ設置数 ・カラー舗装延長数			道路維持費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
4路線1,315m	4路線935m	0.71倍	c	34,491

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	道路修繕計画に基づき、修繕すべきものについて進めている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

第2章 進捗評価シート

5 福祉のまちづくりの方針

4-5 福祉のまちづくりの方針

(2)福祉のまちづくり施策の方向(P54)

後期基本計画上のこの分野の指標	現状(23年度)		目標(31年度)・めざす方向性	
	子育てひろば年間利用者数(人)【重点】	25,016	26,300	
	児童館の年間利用者数(人)【個別】	19,341		↗
	学童クラブ入所・入会者数(人)【個別】	448(H24.3.31)		↗
	民間施設ユニバーサルデザイン推進事業補助件数(件)【個別】	0		↗
	日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人とふれあう機会のある高齢者の割合(%)【個別】	52.3		↗

方 向	事 業	指 標	主 管 課 係	予算額(千円)	進 捗	ペー ジ
① 市民のニーズに応じた住まいの確保	・シルバーピア事業 ・高齢者住宅改修、介護保険住宅改修	・シルバーピア利用率	高齢障がい課高齢者支援係	(いわど) 18,165 (のがわ) 21,106 (いずみ) 18,640 (自宅支援) 7,769 (居宅介護) 20,270 (介護予防) 11,000	A	66
	都営住宅募集案内の情報提供	・配布部数	市民課住民記録係	56	A	67
② 「歩きやすいまちづくり」の推進	【再掲】ポケットパークやベンチの整備		道路交通課道路管理係 環境政策課水と緑の係			
	【再掲】 瑞布3・4・16号線整備事業・瑞布3・4・4号線整備事業(終了) 市道34号線整備事業・市道32号線整備事業(終了)		整備課土木整備係			
③ 誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり	・「音楽の街ー狛江」 ・「絵手紙発祥の地ー狛江」	音楽事業・絵手紙事業イベント開催回数	地域活性課コミュニティ文化係	(音楽) 4,585 (絵手紙) 889	B	68
	コミュニティスペースの整備	・地区センター、地域センター、健康増進室、公民館の会議室等の利用状況 ・催し物の参加者数 ・体育施設利用状況、学校開放実績	地域活性課コミュニティ文化係	(地域・地区センター) 39,349	A	69
			健康推進課健康推進係	(学校開放) 6,464		
			社会教育課社会教育係 公民館	(市民センター費及び公民館費) 150,720		
④ 公共公益施設の整備・改善	公共施設のユニバーサル化	・公共施設のユニバーサル化(福祉基本条例で定める適合証の交付を受けた施設数累計)	施設課施設計画係	(地域・地区センター費) 454,934	A	70
	あいとびあセンター 平成28年度大規模改修予定(現計画)		健康推進課健康推進係			
	地域・地区センターの管理運営		地域活性課コミュニティ文化係			
	民間施設ユニバーサルデザイン推進事業	狛江市福祉基本条例に基づく完了検査の実績	地域福祉課地域福祉係	30	A	71
	赤ちゃんふらっと	広報実績、都申請件数	子育て支援課企画支援係	-	D	72
⑤ 屋外空間の整備・改善	道路修繕計画や歩道のセミフラット化、UDブロックの採用、点字ブロックの採用	整備箇所数	道路交通課道路管理係	26,000	A	73
				「4-5福祉のまちづくりの方針」の予算額合計(A)	779,977	
				他の方針との重複予算額(B)	0	
				合計額 (A)-(B)	779,977	

施策（方針番号）		
4-5 福祉のまちづくり施策		
施策の内容	①	市民のニーズに応じた住まいの確保
	②	「歩きやすいまちづくり」の推進
	③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④	公共公益施設の整備・改善
	⑤	屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名		担当課
33	・シルバーピア事業 ・高齢者住宅改修、介護保険住宅改修		高齢障がい課高齢者支援係

指標評価				予算事業名
指標	・シルバーピア利用率			シルバーピアいわど シルバーピアのがわ シルバーピアいすみ 自立支援住宅改修 居宅介護住宅改修 介護予防住宅改修
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
いずれも100% 250件 （居宅・介護） 25件 （自立）	いずれも100% 274件（居宅・介護） 37件（自立）	1 倍 1.1 倍 1.48 倍	a	（いわど） 18,165 （のがわ） 21,106 （いすみ） 18,640 （自宅支援） 7,769 （居宅介護） 20,270 （介護予防） 11,000

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成27年度に改定を予定している住宅マスタープランについては、高齢者や障がい者の住宅確保の点で高齢障がい課と、空き家の活用で環境政策課や安心安全課と連携を図る必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-5 福祉のまちづくり施策		
施策の内容	①	市民のニーズに応じた住まいの確保
	②	「歩きやすいまちづくり」の推進
	③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④	公共公益施設の整備・改善
	⑤	屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名			担当課
34	都営住宅募集案内の情報提供			市民課住民記録係

指標評価				予算事業名
指標	配布部数			空き家都営住宅地元割当等募集事務
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
配布部数2,572部 募集戸数70件 倍率12.4倍	配布部数 2,463部 募集戸数 44件 倍率 9.8倍	0.96倍 0.63倍 0.73倍	c	56

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-5 福祉のまちづくり施策		
施策の内容	①	市民のニーズに応じた住まいの確保
	②	「歩きやすいまちづくり」の推進
	③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④	公共公益施設の整備・改善
	⑤	屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名			担当課
35	・「音楽の街ー狛江」 ・「絵手紙発祥の地ー狛江」			地域活性課コミュ ニティ文化係
指標評価				予算事業名
指標	音楽事業・絵手紙事業イベント開催回数			音楽事業 絵手紙事業
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
音楽事業30回 絵手紙63回	音楽事業28回 絵手紙59回	0.93倍 0.94倍	b	（音楽）4,585 （絵手紙）889
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）				
視点	検証結果		理由・課題	
事業の実績 は順調に推 移している か。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	
事業の効率 性やコスト に改善の余 地はない か。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	
事業の執行 体制上の課 題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）				
評価結果	コメント			
B	—			
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない				

施策（方針番号）		
4-5 福祉のまちづくり施策		
施策の内容	①	市民のニーズに応じた住まいの確保
	②	「歩きやすいまちづくり」の推進
	③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④	公共公益施設の整備・改善
	⑤	屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名	担当課
36	コミュニティスペースの整備	地域活性課コミュニティ文化係、健康推進課健康推進係、社会教育課社会教育係、公民館

指標評価				予算事業名
指標	・地区センター、地域センター、健康増進室、公民館の会議室等の利用状況 ・催し物の参加者数 ・体育施設利用状況、学校開放実績			地域・地区センター事業 学校開放 公民館費事業
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
岩戸56.6%	岩戸は建替えのため0%	—	—	（地域・地区センター） 39,349 （学校開放）6,464 （市民センター費及び公民館費） 150,720
根川31.6%	根川32.3%	1.02倍	a	
上和泉72.5%	上和泉77.4%	1.07倍	a	
上和泉46.1%	上和泉49.8%	1.08倍	a	
駄倉48.7%	駄倉50.2%	1.03倍	a	
谷戸橋29.9%	谷戸橋3.6%	0.12倍	d	
南部42.4%	南部43.4%	1.02倍	a	
野川50.5%	野川53.2%	1.05倍	a	
和泉多摩川44.0%	和泉多摩川37.5%	0.85倍	b	
あいとびあ9,677人	9,655人	1倍	b	
市民体育館6,171人	6,453人	1.04倍	a	
公民館169,328人	171,178人	1.01倍	a	

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	岩戸地域センターは改修のため利用率が下がったが、基本的には前年度と同様の利用率となっている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	改修は予定通り進んでいる。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-5 福祉のまちづくり施策		
施策の内容	①	市民のニーズに応じた住まいの確保
	②	「歩きやすいまちづくり」の推進
	③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④	公共公益施設の整備・改善
	⑤	屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名				担当課
37	公共施設のユニバーサル化				施設課施設計画係

指標評価				予算事業名
指標	狛江市福祉基本条例で定める適合証の交付を受けた施設数累計			地域・地区センター費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
4施設	6施設	1.5倍	a	454,934

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	改修工事時に合わせて、適合証の交付を受けるようにしている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-5 福祉のまちづくり施策		
施策の内容	①	市民のニーズに応じた住まいの確保
	②	「歩きやすいまちづくり」の推進
	③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④	公共公益施設の整備・改善
	⑤	屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名			担当課
38	民間施設ユニバーサルデザイン推進事業			地域福祉課地域福祉係

指標評価				予算事業名
指標	狛江市福祉基本条例に基づく完了検査の実績			福祉環境整備基準適合証作成費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
17箇所	18箇所	1.06倍	a	30

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	公共公益施設の実績はあるが、その他の施設で実績がない（民間施設がない）という課題がある。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	民間施設を増やすためには、適合証の認定の枠組みについて、新しい枠組みを設け、広げていく検討が必要である。
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	民間施設について適合証の交付の実績を増やすために、引き続き制度の検討を行う必要がある。
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない	
D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-5 福祉のまちづくり施策		
施策の内容	①	市民のニーズに応じた住まいの確保
	②	「歩きやすいまちづくり」の推進
	③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④	公共公益施設の整備・改善
	⑤	屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名			担当課
39	赤ちゃんふらっと			子育て支援課企画支援係

指標評価				予算事業名
指標	広報実績、都申請件数			—
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
0回、0件	0回、0件	—	d	—

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	d	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成26年度も広報活動が行えなかった。平成27年度は制度周知のため、引き続き広報活動を行う。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
D	引き続き制度周知及び制度の利用促進を図る必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-5 福祉のまちづくり施策		
施策の内容	①	市民のニーズに応じた住まいの確保
	②	「歩きやすいまちづくり」の推進
	③	誰もが暮らし続けられるコミュニティづくり
	④	公共公益施設の整備・改善
	⑤	屋外空間の整備・改善

事業No.	事業名				担当課
40	道路修繕計画や歩道のセミフラット化、UDブロックの採用、点字ブロックの採用				道路交通課道路管理係
指標評価					予算事業名
指標	整備箇所数				道路維持管理費
前年度数値	今年度数値		前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
3件	0件		皆減	d	26,000
執行状況の検証（ヒアリング結果等より）					
視点	検証結果			理由・課題	
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない		道路修繕計画に基づき、予定通り進捗している。	
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない		—	
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない		—	
総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）					
評価結果		コメント			
A		—			
A.進捗している					
B.現状維持					
C.あまり進捗していない					
D.まったく進捗していない					

第2章 進捗評価シート

6 粕江らしい文化を育むまちづくりの方針

4-6 狛江らしい文化を育むまちづくりの方針

(2) 狛江らしい文化を育むまちづくり施策の方向 (P57)

			現状(23年度)	目標(31年度)・めざす方向性			
後期基本計画上のこの分野の指標			市の歴史や伝統に関心を持ったり、見聞きたりしたことのある市民の割合(%)【個別】	58.0	↑		
方 向		事 業	指 標	主 管 課 係	予算額(千円)	進捗	ページ
① 景観まちづくりに関わる「拠点」の形成	1)緑の景観拠点	弁財天池特別緑地保全地区		環境政策課水と緑の係			
	2)都市景観の創出拠点	【再掲】学校緑化基本方針に基づく校庭芝生及び屋上緑化の維持管理、緑のカーテンの設置		学校教育課教育庶務係			
		放置自転車対策		道路交通課交通対策係			
	3)歴史的景観拠点	・泉龍寺建造物の文化財指定 ・兜塚古墳・亀塚古墳の樹木の剪定、兜塚古墳のフェンス修繕 ・猪方小川塚古墳調査保存検討委員会の立ち上げ	・史跡等の指定件数 ・史跡の維持、管理実績 ・史跡の整備実績	社会教育課文化財担当	8,508	A	76
② 景観まちづくりに関わる「軸」の形成	1)水辺の景観軸	・【再掲】多摩川統一清掃、野川美化清掃の実施 ・多摩川河川敷の環境を保全する条例に基づく規制	・条例に基づく勧告者数 ・多摩川統一清掃、野川美化清掃の活動実績、参加者数	環境政策課水と緑の係	(多摩川監視) 7,725 【再掲】 228 (野川清掃)	B	77
		多摩川、野川の流域自治体や管理者である国土交通省、東京都と協働した活動		環境政策課水と緑の係			
	2)緑の景観軸	【再掲】公園・緑地の維持管理(野川緑地公園、岩戸川緑地公園(緑道)の維持管理)		環境政策課水と緑の係 整備課土木整備係			
	3)街路の景観軸	・緑のまち推進補助制度による民有地緑化の推進 ・界わい緑化	制度利用件数	まちづくり推進課まちづくり推進担当 環境政策課水と緑の係	1,071	B	78
		・調布3・4・16号線整備 ・調布3・4・4号線整備(終了) ・市道34号線整備事業 ・調布3・4・17号線植栽	街路沿い緑化延長総計・植栽実績	道路交通課道路管理係 整備課土木整備係	【再掲】 10,904	B	79
		花いっぱい事業	植込み苗数	環境政策課水と緑の係 道路交通課道路管理係	(環境政策課) 1,068 【再掲】 (道路交通課) 525 【再掲】	B	80
③ 良質な街並みの保全	・生産緑地の保全 ・【再掲】景観まちづくりビジョンの作成	・生産緑地数 ・景観まちづくりWG実施回数	まちづくり推進課都市計画担当・まちづくり推進担当	1,096	B	81	
④ 公共公益施設における文化的拠点の形成	・地域・地区センターの管理運営 ・市民ホール(指定管理者である一般財団法人狛江市文化振興事業団を中心として、適切な維持管理を行っていく)	市民ホール稼働率	地域活性課コミュニティ文化係	104,409	B	82	
⑤ 地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造	・【再掲】景観まちづくりWG ・狛江のまち-魅力百選	狛江のまち-魅力百選冊子配布数	まちづくり推進課まちづくり推進担当	713	B	83	
	・郷土芸能保存団体への補助金の交付 ・猪方小川塚古墳調査保存検討委員会の立ち上げ ・猪方小川塚古墳現地見学会の実施	文化財展、講演会、講座の実施実績、古民家園の事業実績、入園者数、補助金の交付実績	社会教育課文化財担当	10,024	B	84	
				「4-6 狛江らしい文化を育むまちづくりの方針」の予算額合計(A)	146,271		
				他の方針との重複予算額(B)	12,725		
					合計額 (A)-(B)	133,546	

施策（方針番号）		
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名				担当課
41	・ 泉龍寺建造物の文化財指定 ・ 兜塚古墳・亀塚古墳の樹木の剪定、兜塚古墳のフェンス修繕 ・ 猪方小川塚古墳調査保存検討委員会の立ち上げ				社会教育課文化財担当

指標評価					予算事業名
指標	・ 史跡等の指定件数 ・ 史跡の維持、管理実績 ・ 史跡の整備実績				文化財保護関係費 埋蔵文化財保護関係費
前年度数値	今年度数値		前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
新規1件 管理4件 整備0件	新規1件 管理5件 整備1件		1倍 1.25倍 皆増	a	8,508

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	市が土地を買い上げて指定する文化財指定は財政的に限界があるが、現状ある市内の碑等を有形文化財の建造物として指定し、歴史的景観拠点としていく。
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成27年度に予定されている塚の歴史公園の都市計画変更については、今後の住民の利用に供する形態を鑑み、まちづくり推進課と調整して進めていく必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
A	—
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名			担当課
42	・【再掲】多摩川統一清掃、野川美化清掃の実施 ・多摩川河川敷の環境を保全する条例に基づく規制			環境政策課水と緑の係

指標評価				予算事業名
指標	・条例に基づく勧告者数 ・多摩川統一清掃、野川美化清掃の活動実績、参加者数			多摩川河川敷環境保全事業 河川環境整備費（再）
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
0件 280人	0件 278人	- 0.99倍	b	（多摩川監視）7,725 【再掲】（野川清掃）228

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成27年度からは多摩川統一清掃についても環境政策課の所管となる。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名			担当課
43	・緑のまち推進補助制度による民有地緑化の推進 ・界わい緑化			まちづくり推進課まちづくり推進担当 環境政策課水と緑の係

指標評価				予算事業名
指標	制度利用件数			緑化推進補助
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
2	（界わい）概要説明会1回 （民有地緑化）2	皆増 1倍	b	1,071

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	c	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成26年度から開始した緑のまち推進補助制度の利用は、新しく追加した植栽帯のメニューで2件となっている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	界わい緑化については、まちづくり推進課と環境政策課で役割分担を行い、進めていく。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	緑のまち推進補助制度の普及啓発を図るとともに、界わい緑化を契機に商店街等の団体単位での緑化推進を検討する必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名			担当課
44	・調布3・4・16号線整備 ・調布3・4・4号線整備（終了） ・市道34号線整備事業 ・調布3・4・17号線植栽			道路交通課道路管理係 整備課土木整備係

指標評価				予算事業名
指標	街路沿い緑化延長総計・植栽実績			調布3・4・16号線整備費及び34号線整備費（再）
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
—	—	—	—	【再掲】10,904

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	次回の植栽は都市計画道路調布3・4・16号線整備の際に行う予定であり、都市計画道路調布3・4・16号線は7～8年の計画で進めている。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	植栽を行う整備の機会自体が少ないため、整備の際は確実に進める必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名				担当課
45	花いっぱい事業				環境政策課水と緑の係 道路交通課道路管理係

指標評価					予算事業名
指標	植込み苗数				「花いっぱい」エリア事業 (再)
前年度数値	今年度数値		前年度比(倍)	結果	今年度予算額(千円)
8,257個	花苗(環境政策課) 2,924 (道路交通課) 1,830		0.58倍	c	【再掲】(環境政策課) 1,068 【再掲】(道路交通課) 525

執行状況の検証(ヒアリング結果等より)				
視点	検証結果		理由・課題	
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	三角地で花苗を植えていた箇所について、一部芝生化したため、苗数は減少した。	
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—	

総合評価(指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価)	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名			担当課
46	・生産緑地の保全 ・【再掲】景観まちづくりビジョンの作成			まちづくり推進課都市計画担当・まちづくり推進担当

指標評価				予算事業名
指標	・生産緑地数 ・景観まちづくりWG実施回数			・生産緑地地区計画変更関係図書作成委託 ・生産緑地地区標識設置等委託
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
140箇所 8回	（生産緑地）140箇所 （WG）0回	1倍 皆減	d	（生産緑地）1,096

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成25年度にまとめた公園・緑地の配置方針に基づき、平成27年度に一部生産緑地に都市計画公園の指定を行う予定である。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	生産緑地の買取申出に対応するため、土地開発公社の活用について、整備課と連携する必要がある。

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	生産緑地の保全について、公園・緑地の配置方針に沿い、保全すべきものについては買取の検討を行い、平成27年度に策定予定の景観まちづくりビジョンに従い、良好な景観形成を進めていく必要がある。
A.進捗している	
B.現状維持	
C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名				担当課
47	・地域・地区センターの管理運営 ・市民ホール（指定管理者である一般財団法人狛江市文化振興事業団を中心として、適切な維持管理を行っていく）				地域活性課コミュニティ文化係

指標評価				予算事業名
指標	市民ホール稼働率			市民ホール指定管理業務費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
57.8%	58.0%（平成27年2月まで）	1 倍	b	104,409

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	指定管理者から平成30年度までの計画が提出され、その計画に基づき進めていく。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名				担当課
48	・【再掲】景観まちづくりWG ・狛江のまち-魅力百選				まちづくり推進課まちづくり推進担当

指標評価				予算事業名
指標	狛江のまち-魅力百選冊子配布数			狛江のまち-魅力百選広報冊子印刷製本費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
3,000部	6,000部	2倍	a	713

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）			
視点	検証結果		理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	平成26年度は、小中学生を対象に配布した。魅力百選に代わる狛江まちなみコンクールへの移行を検討する必要がある。
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	景観まちづくりビジョンの策定後、景観まちづくりワーキンググループにて、景観スタンプラリーを実施する予定である。
事業の執行体制上の課題・その他	b	a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	—
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

施策（方針番号）		
4-6 狛江らしい文化を育むまちづくり施策		
施策の内容	①	景観まちづくりに関わる「拠点」の形成
	②	景観まちづくりに関わる「軸」の形成
	③	良質な街並みの保全
	④	公共公益施設における文化的拠点の形成
	⑤	地域資源の保全・活用と地域に根ざした文化の創造

事業No.	事業名		担当課
49	- 郷土芸能保存団体への補助金の交付 - 猪方小川塚古墳調査保存検討委員会の立ち上げ - 猪方小川塚古墳現地見学会の実施		社会教育課文化財担当

指標評価				予算事業名
指標	文化財展、講演会、講座の実施実績、古民家園の事業実績、入園者数、補助金の交付実績			文化財保護関係費 郷土芸能保存会補助 古民家園指定管理業務費
前年度数値	今年度数値	前年度比（倍）	結果	今年度予算額（千円）
文化財展2回 講座・講演会2回 古民家園事業39件 古民家園入園者数20,889人 補助金交付1件	文化財展1回 講座・講演会3回 古民家園事業32件 入園者数27,637人 補助金の交付1件	0.5倍 1.5倍 0.82倍 1.48倍 1倍	a	10,024

執行状況の検証（ヒアリング結果等より）		
視点	検証結果	理由・課題
事業の実績は順調に推移しているか。	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—
事業の効率性やコストに改善の余地はないか。	a a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	古民家園については、平成27年度以降は市の直営となる。イベント等の事業内容は、平成26年度と同様の予定である。
事業の執行体制上の課題・その他	b a.進捗している b.現状維持 c.あまり進捗していない d.まったく進捗していない	—

総合評価（指標評価と執行状況の検証を踏まえて評価）	
評価結果	コメント
B	地域の文化の維持、継承のため現状維持に努める必要がある。
A.進捗している B.現状維持 C.あまり進捗していない D.まったく進捗していない	

第3章 今後の取組み

第3章 今後の取組み

1 評価結果のまとめ

平成 26 年度実績についての評価結果をまとめると、下表のようになりました。

(1) 指標評価結果

評価基準	評価内容	前年度比(目安)	事業数	
a	進捗している	1 倍超	28	42.4%
b	現状維持	0.8 倍～1 倍	16	24.2%
c	あまり進捗していない	0.8 倍未満	4	6.1%
d	まったく進捗していない	0.5 倍以下	8	12.1%
評価ができなかったもの			10	15.2%
計			66	100%

なお、事業の評価ができなかったものは、主に平成 26 年度は事業未着手若しくは平成 26 年度から事業開始のものとなっています。

(2) 総合評価結果

評価基準	評価内容	事業数	
A	進捗している	36	54.5%
B	現状維持	24	36.4%
C	あまり進捗していない	4	6.1%
D	まったく進捗していない	2	3.0%
計		66	100%

(3) 課題

指標評価結果では 42.4%が a 評価、総合評価結果では 54.5%が A 評価であった一方、指標評価結果では 42.4%が b 評価以下、総合評価結果では 45.5%が B 評価以下であることがわかりました。特に総合評価結果では 9.1%が C 評価以下であり、まちづくりにおいて重点分野となる土地利用の方針に関する分野で、評価が低い結果となりました。

2 取組みの推進に向けて

(1) 庁内での推進

都市計画マスタープランの総合的かつ効率的な推進のため、総合評価として A 評価のものについては引き続き取組みを進めていただくものとします。また B 評価以下のもののうち、B 評価のものについては事業所管課において事業進捗のための取組みを強化します。さらに C 評価以下のものについては、取組みの抜本的

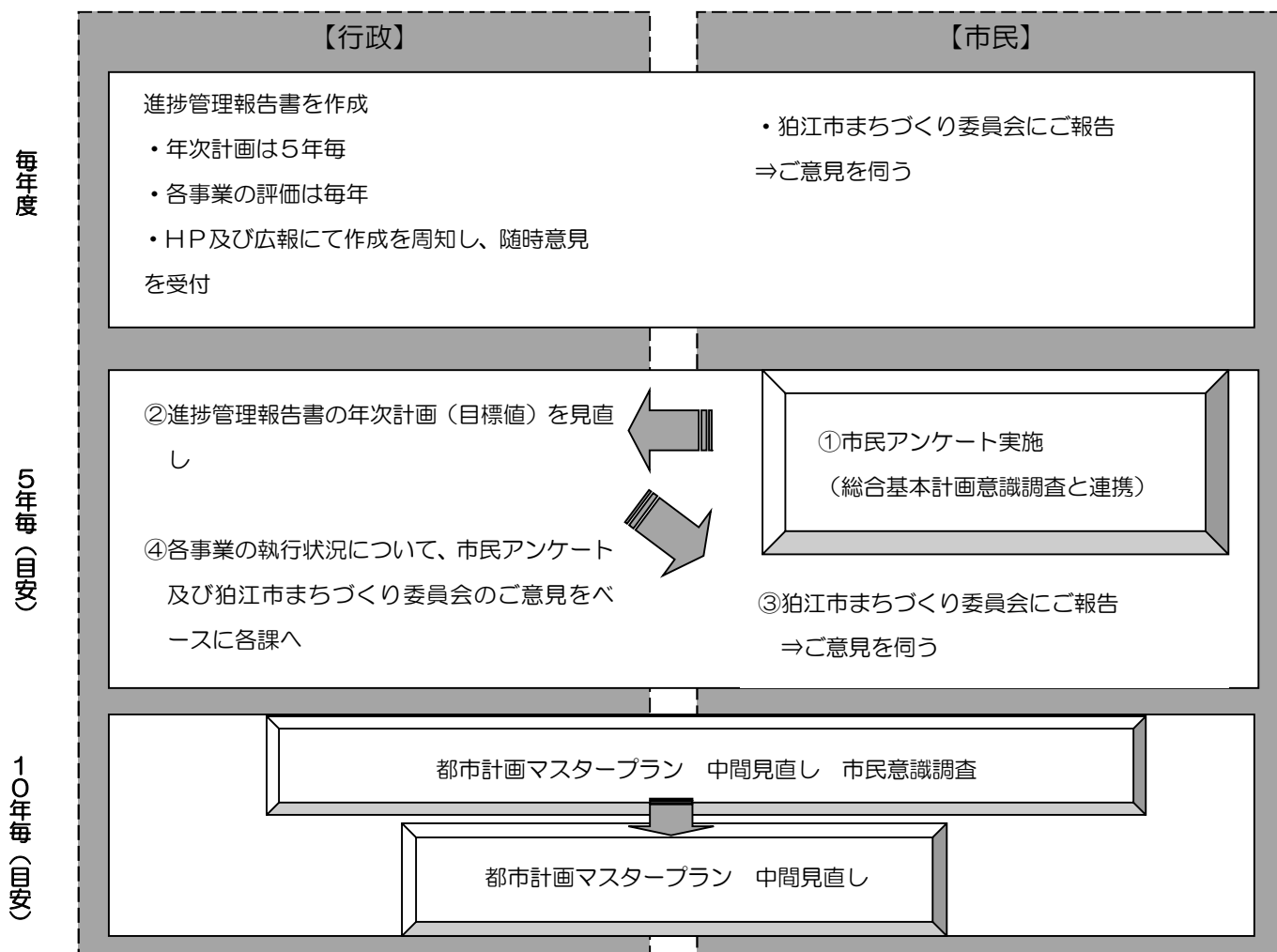
な見直しとともに、都市計画マスタープランの所管担当課としてまちづくり推進課が庁内の連携体制の整備や調整に努め、計画年次である平成 28 年度までの予定どおりの進捗を目指し、それでも進捗が見られない場合は、平成 29 年度以降事業の方向性の修正も含めた検討を行います。

(2) 市民参加による進捗管理

平成 26 年度は進捗管理報告書を粕江市まちづくり委員会に報告し、市民フォーラムを開催しました。

平成 27 年度以降の市民参加の手法としては、本冊子では各事業についての行政による自己評価にとどまっている点を踏まえ、下記の図のとおり定期的に市民アンケートを実施し、これまでの取組みがどの程度市民福祉に資しているか、主に市民満足度の把握を行います。

特に総合評価結果で進捗していないとしてC評価やD評価となったものはもちろん、指標評価結果で進捗していないとされたc評価やd評価について、市民からのご意見をいただき、事業所管課へ提示することにより、都市計画マスタープランの着実な推進を図ります。



刊行物番号H27-16

狛江市都市計画マスタープラン進捗管理 平成 26 年度報告書
平成 27 年 7 月

発行 狛江市

編集 狛江市都市建設部まちづくり推進課

〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号

電話 03-3430-1111（代）

頒布価格 160 円